（様式１）

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2022年　12月　15日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
②測定ツール名	GTEC Advancedタイプ・Basicタイプ・Coreタイプ					
③主な対象者	中学1年生～高校3年生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
			○		○	○
⑥申請する測定ツールの目的･概要	実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型４技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる日本の中高生に適した出題です。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題されており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫しています。					
⑦申請する測定ツールの特長･活用例等	◆特長１：技能別の英語力をスコア型の絶対評価で測定 技能別の英語運用力を絶対評価で示しますので、英語力の伸びを実感できます。継続的に受検することで、「過去の自分からどれだけ成長したか」を数値で把握できます。スコアは４技能のCEFRレベル別結果を確認することができます。 ◆特長２：日本の中高生の英語力を測るのに適した問題 授業で学んだ英語を「実際に使う」という手ごたえを感じられる出題です。また、背景知識に左右されないため、より正確に生徒の現在の英語力とその伸長がスコアに現れます。 ◆特長３（及び、活用例）：振り返りに役立つ充実したフィードバック 詳細な教師用帳票とスコアレポート（個人別成績票）により、次のご指導・学習のポイントが明確になります。また、生徒一人ひとりに音声付きの付属学習教材「スキルUPワーク」を提供します。 活用例）長期休暇前にテストを受検し、テスト結果に応じて、休暇中に、 「スキルUPワーク」で自身の英語力を高めることが可能です。					
⑧実施期間、年間実施回数	◆検定としてのGTECは、年３回の実施日を予定しており、日程と受検できる問題タイプ等につきましては、下記の弊社GTECのウェブサイトからご確認いただける予定です。 ◆アセスメントとしてのGTECをご受検いただく場合は、どの問題タイプにおいても、問題内容は4月と10月に切り替え予定で、同じ問題タイプでも年に２回ご受検いただけます。					
⑨実施方式（CBT/PBT）	「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の３技能は紙で、「話すこと」はベネッセから貸与するタブレットでの実施となります。 ※一部のGTECの実施回において、スピーキングテストを各学校のデバイス（タブレットやコンピュータ）で実施いただけます。					
⑩試験時間（分）	国語	数学	英語			
			◆Advanced/Basic：合計120分 聞くこと：約25分、読むこと：約45分 話すこと：約25分、書くこと：約25分 ◆Core：合計102分 聞くこと：約20分、読むこと：約32分 話すこと：約25分、書くこと：約25分			
⑪受検料	・検定としてのGTECをご受検いただく場合（４技能・ベネッセ端末２人１台利用方式）：6,100円（10%税込） ・検定としてのGTECをご受検いただく場合（４技能・ベネッセ端末１人１台利用方式）：6,600円（10%税込） ・アセスメントとしてのGTECをご受検いただく場合（４技能・ベネッセ端末利用方式）：5,400円（10%税込） ・アセスメントとしてのGTECをご受検いただく場合（４技能・学校端末利用方式）：4,900円（10%税込） ※受検料の変更がある場合は、随時、HP等で告知いたします。					
⑫標準返却期間	答案弊社到着後、約１．５～２ヶ月					
⑬URL（事業者のHPにおける測定ツール紹介）	https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/					

（様式２）

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC　Advanced タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ

Ⅰ．出題に関すること

（1）出題の基本方針

①主な対象者
高校１年生～高校３年生

②測定しようとする資質・能力
＜全タイプ共通＞
「聞くこと」に関する資質・能力、「読むこと」に関する資質・能力、「話すこと」に関する資質・能力、「書くこと」に関する資質・能力。

③出題範囲

タイプ	出題範囲
Advanced	義務教育範囲、英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、論理・表現Ⅰ、Ⅱ

④出題方針
実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型４技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる、日本の中高生に適した出題です。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題されており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫しています。
※「知識・技能」を問う問題　…　視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した短文を聞き分ける力や短文の文脈を理解するとともに、語彙選択上最も適切な表現を正確に判断する力を問う問題を出題します。
※「思考力・判断力・表現力」を問う問題　…　その場で求められている課題（タスク）を解決する力、全体の概要を理解する力などを問うとともに、相手に伝わるように状況を説明する力や与えられた話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力を問う問題など、発信技能に関する出題も充実しています（語数は非公開）。

⑤出題構成と学習指導要領との対応
・GTEC は学習指導要領に則ったテストです。各タイプの学習指導要領との対応関係は以下の通りで、各出題に対応している学習指導要領の科目・項目を「※」で示しています。

Advanced

Listening/聞くこと	Reading/読むこと	Speaking/話すこと	Writing/書くこと
A 写真・イラスト説明 10 問 （写真など与えられた視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した短文を聞き分ける力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （1）聞くこと　ア ※義務教育範囲 1 目標 （1）聞くこと　ア	**A 短文文脈理解 14 問** （短文の文脈を理解するとともに、語彙選択上最も適切な表現を正確に判断する力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （2）読むこと　ア ※義務教育範囲 1 目標 （2）読むこと　イ	**A 音読 2 問** （英文を読み上げる形式の出題で、状況や英文を理解した上で、正確な発音で音読する力）	**A E メール 1 問** （与えられた E メールで問われる内容について、限られた時間の中で適切な回答を表現する力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （5）書くこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （5）書くこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1 目標 （5）書くこと　ア ※論理・表現Ⅰ 1 目標 （3）書くこと　ア ※論理・表現Ⅰ 1 目標 （3）書くこと　イ ※論理・表現Ⅱ 1 目標 （3）書くこと　ア ※論理・表現Ⅱ 1 目標 （3）書くこと　イ ※義務教育範囲 1 目標 （5）書くこと　ア ※義務教育範囲 1 目標 （5）書くこと　イ
B 会話応答 10 問 （事前予測ができる情報がない中で、不意の質問に対する適当な応答を素早く判断し処理する力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （1）聞くこと　ア	**B-1 概要把握 6 問** （与えられた英文の題材について、短時間で全体の概要を理解する力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （2）読むこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1 目標 （2）読むこと　イ	**B 質問応答 4 問** （図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に応答する力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （3）話すこと［やり取り］　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1 目標	**B 意見展開(Essay) 1 問** （社会的なテーマに対して、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （5）書くこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1 目標

		(3) 話すこと［やり取り］　ア ※論理表現Ⅰ 1　目標 (1) 話すこと［やり取り］　ア ※論理・表現Ⅱ 1　目標 (1) 話すこと［やり取り］　ア ※義務教育範囲 1　目標 (3) 話すこと［やり取り］　ア ※義務教育範囲 1　目標 (3) 話すこと［やり取り］　イ	(5) 書くこと　イ ※論理表現Ⅰ 1　目標 (3) 書くこと　イ ※論理・表現Ⅱ 1　目標 (3) 書くこと　イ
C　課題解決 10 問 ［事前に与えられる視覚情報と音声情報から、その場で求められている課題(タスク)を解決する力］ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 (1) 聞くこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 (1) 聞くこと　ア	**B-2 情報検索 8 問** (与えられた英文の題材について、短時間で必要な情報を引き出す力) ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 (2) 読むこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 (2) 読むこと　ア	**C　ストーリー説明 1 問** (日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力) ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 (4) 話すこと［発表］　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 (4) 話すこと［発表］　ア ※論理表現Ⅰ 1　目標 (2) 話すこと［発表］　ア ※論理・表現Ⅱ 1　目標 (2) 話すこと［発表］　ア	
D　要点理解 10 問 (一定以上の長さの英文を聞き、事前に与えられる英語の質問に答えるため必要な情報を選択、適切な判断をする力) ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	**C　要点理解 15 問** (多めの英文について、趣旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し、必要な情報を読み取る力) ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	**D　意見陳述 1 問** (身近で社会的なテーマに対して、自分の意見とその意見をサポートする理由を言う力) ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標	

1　目標 （1）聞くこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 （1）聞くこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 （1）聞くこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 （1）聞くこと　イ	1　目標 （2）読むこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 （2）読むこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 （2）読むこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 （2）読むこと　イ	（4）話すこと［発表］ イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 （4）話すこと［発表］ イ ※論理表現Ⅰ 1　目標 （2）話すこと［発表］ イ ※論理・表現Ⅱ 1　目標 （2）話すこと［発表］ イ	

⑥出題形式（詳細は「（2）構成等」に記載）

・聞くこと　…　選択式
・読むこと　…　選択式
・話すこと　…　録音式
・書くこと　…　記述式

⑦難易度

CEFR では A1～B2 まで測定可能なテストとなっています。

（2）構成等

①出題形式

Advanced

	配点	試験時間	実施方法	出題形式
聞くこと	320 点	約 25 分	筆記	選択式
読むこと	320 点	約 45 分	筆記	選択式
話すこと	320 点	約 25 分	タブレット	録音式
書くこと	320 点	約 25 分	筆記	記述式

※実施方法に関する補足
聞くこと　…　CD による一斉実施方式。
話すこと　…　録音方式（CBT）。

②出題範囲と割合

タイプ	出題範囲	出題割合
Advanced	義務教育範囲	約 0.5～１割
	英語コミュニケーションⅠ、論理・表現Ⅰ	約 6～7 割
	英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅱ	約 3～4 割

※出題語彙・文法　…　中学～高校の学習指導要領の範囲の語彙・文法レベル
※出題割合に関する補足
出題する語彙や文法レベルを踏まえ、必履修範囲の割合を約６～７割、それ以外を約３～４割としています。

(3)難易度設定の考え方・方法

GTEC には Advanced、Basic、Core という３つの難易度別の問題タイプがあり、中学生および高校生の英語力を測るのに適した難易度設定になっています。目安受検学年は、Advanced では、高校1年生～3年生となっています。また、CEFR では A1～B2 まで測定可能なテストとなっています。いずれのテスト版においても、問題企画に沿って出題をしており、使用する語彙レベルや文法レベルなども出題企画に沿って作問されます。加えて、１問１問の難易度は事前に被験者を集めて分析したデータをもとに設定されており、その分析結果をもとに項目応答理論（IRT）という手法を用いてスコア化しています。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

・実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型４技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる、日本の中高生に適した出題です。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題されており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫しています。

・受検後、約１か月半で受検者に製本された紙媒体のスコアレポート（個人成績票）を学校経由でお届けします。項目応答理論（IRT）を利用して、技能ごとの絶対評価によるスコアを受検者にはお返ししますので、受検者はスコアの推移で英語力の伸びを実感できるようになっています。

・スコアレポートには、受検者一人ひとりに対し、各技能を伸ばしていくために日々の学習で何をすべきかのアドバイスや、付属教材「スキル UP ワーク」の具体的な学習ページも示されています。また、観点別に採点された結果に加え、採点者からのメッセージも付けてお返しします。「GTEC」の帳票返却タイミングに、Writing の答案作成のポイントをまとめた学習ページをリリースします。動画解説を見てポイントを理解し、実際に Web 上にテキスト入力しながら、答案作成のプロセスを学べます。CEFR-J 別に学習ページを用意しているので、テスト結果を受けて、次の受検時に一つ上のレベルの答案が作れるようになるための自学自習をサポートします。

Ⅱ．結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

・受検者には下記の項目をフィードバックとして提出します。

① 受検月
② 各技能 及び Total のスコア
③ 各技能 及び Total のグレード
④ 各技能 及び Total の校内平均スコア
⑤ 各技能 及び Total の校内順位
⑥ リーディングの WPM（words per minute）
⑦ 各技能 及び Total の Can Do メッセージ
⑧ 各技能 及び Total の成績推移
⑨ 問題 Part 別の全国平均正解率・校内平均正解率・受検者平均正解率（リーディング・リスニング）
⑩ 小問単位での受検者の解答と正誤（リーディング・リスニング）
⑪ 採点観点別の受検者の素点（ライティング・スピーキング）
⑫ 学習アドバイス
⑬ 付属教材「スキル UP ワーク」の取り組みページ
⑭ 受検者の書いた Writing 答案
⑮ Writing 答案に対する採点者からのメッセージ

・受検後、約１か月半で受検者に、技能ごとのスコアやグレード等が掲載されている、製本された紙媒体のスコアレポート（個人成績票）を学校経由でお届けします。

(2)学校等への結果提供内容・方法

・学校には下記の項目をフィードバックとしてお返しします。

① 実施月
② 各技能 及び Total の全国 及び 校内平均スコア（過年度 及び 過回の結果を含む）
③ 各技能 及び Total の校内平均 グレード
④ リーディングの全国 及び 校内平均 WPM（words per minute）
⑤ 各技能 及び Total の校内平均スコア推移
⑥ 各技能 及び Total のスコア成績分布（過年度 及び 過回の結果を含む）
⑦ 各技能の指導アドバイス
⑧ 問題 Part 別・設問別の全国平均正解率・校内平均正解率（リーディング・リスニング）
⑨ 問題 Part 別 当該校注目問題（リーディング・リスニング）
⑩ 設問別正解率一覧（リーディング・リスニング）
⑪ 採点観点別の素点分布（ライティング・スピーキング）
⑫ 問題ごとに高得点者１名・平均得点者１名のライティング答案例
⑬ クラス別成績一覧
⑭ 各技能の成績トップ２０・前回からの成績推移トップ２０
⑮ 個人成績一覧（Total スコアの降順）

・受検後、約１か月半で学校に製本された紙媒体の団体帳票をお届けします。技能ごとに詳細なフィードバックをお返ししますので、学校が設定した到達目標に達することができたかどうかを検証し、校内の指導改善に活かすことができます。
・受検者全員の「個人成績一覧」・「ライティング答案（PDF ファイル形式）」 及び 成績上位者・中位者の「スピーキング解答音声データ」を Web 経由にて提供します。
・学校からの要望に応じ、弊社担当者による受検結果報告会を実施します。

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

GTEC のスコアは「IRT（Item Response Theory）」という統計手法で算出されています。IRT で算出されたスコアは同一尺度上に表現されるためスコアを直接比較することが可能なので、問題タイプ間の比較（Core、Basic、Advanced）や過去受検回との比較をすることができます。また、各技能のスコアに応じて can-do statements が設定されており、さらに CEFR（Common European Framework of Reference for Languages：ヨーロッパ言語共通参照枠）レベルではどのレベルになるかの対照表をもとに、該当 CEFR レベルを併せて返却しています。

※GTEC では Council of Europe が公表している手法に基づき CEFR との対応関係を検証しています。その検証において、「読むこと」「聞くこと」「書くこと」「話すこと」の各 CEFR レベルにおける閾値スコアを判定しているため、技能ごとに CEFR レベルとの対応関係を確認することが可能です。また、スコア型の検定として各技能の閾値スコアを加算し、４技能総合の閾値スコアも示しています。

Ⅲ．運営に関すること

（1）問題の質を確保するための方法

①信頼性について

事前のフィールドテストで得られた項目パラメータ（識別力、困難度）を用い、各テスト版について、テスト特性曲線、テスト情報量、条件付き測定の標準誤差を計算します。これらの値は統計的仕様で定められた基準値と比較され、不十分であれば問題の差し替え等の対応を行います。このプロセスを通じて、各テスト版の測定精度が十分高くなるように管理しています。

②妥当性の研究・検証結果等

GTEC については、これまで下記の妥当性研究をしています。

・GTEC スコアと CEFR レベル関連付け調査報告(2017)
　http://cees.or.jp/pdf/reports/2017/Standard_Setting_Report.pdf

③作問体制、第三者評価（外部有識者を含む）、検証方法等

作問時に第三者（外部有識者を含む）を交えた審査会を実施しています。また、全国検定振興機構に加盟をしており、今後は当機構による第三者評価を予定しています。

・作問体制：作問は海外の作問会社で執筆、社内での確認（１版あたり、10 名程度）、第三者評価（７名程度）で行います。
・検証方法：実施結果を踏まえ、版全体としての、テスト特性曲線、テスト情報量、１問毎の項目特性（識別力、困難度）の確認を行います。その結果は作問関連者に共有し、それ以降の作問に活かすこととしています。

（2）学校における実施方法（アセスメントとしての GTEC を受検いただく場合の実施方法）

・「実施の手引き」を送り、手引きを参考にして先生に実施いただきます。技能毎に別日受検もできます。
・リーディング・リスニング・ライティングの３技能は、ＣＤを流したままで試験を進める形式のため、基本的に試験中は先生が指示を出す必要はありません。ＣＤから日本語ナレーションが流れ、解答時間もＣＤで進行管理します。主に先生に行っていただくことは、①問題冊子や解答用紙等の配布・回収 ②ＣＤの再生 ③試験時間中の監督 です。
・スピーキングは、弊社よりタブレットを貸し出し（最大５営業日）、音声を吹き込んでご返送いただく形で実施します。「試験監督先生用マニュアル」の台本にしたがって先生に指示を出していただき、テスト開始後はアプリで自動的に進行します。スピーキングの実施にネットワーク環境は必要ありませんので、教室でそのまま実施いただけます。主に先生に行っていただくことは、①タブレットやイヤホン等の配付・回収 ②進行に関する説明 ③試験時間中の監督です。また、学校端末でもスピーキングをご受検いただけるようになり、その場合は、学校のネットワークを使用し、「試験監督先生用マニュアル」の台本にしたがって先生に指示を出していただき、テスト開始後は自動で進行します。
・実施まわりについて不明点などあれば、「GTEC」お問い合わせ窓口（電話窓口）で承ります。
・欠席者などへの対応について、後日実施が可能です。ただし、スピーキングのタブレットの貸出期間は最大５営業日となりますので、その期間内に欠席者の受検ができない場合は、一度タブレットは回収し、再度発送させていただくことになります。タブレットの在庫により、ご希望の日程で再発送ができない場合がございます。

（3）採点の方法と体制

①採点の仕組み

・弊社では、採点ガイドラインに基づき、採点結果の信頼性の向上、採点の合理化、迅速化を図るため、種々の取組を実施しています。採点者は、年間を通じて研修や、実際の採点経験の中

で様々なトレーニングを受け、採点スキルの向上を図ります。また、採点結果の信頼性の向上のため、定期的なサンプリング調査や個別のフィードバックを実施しています。

(4)情報管理体制

セキュリティ

・ベネッセは、ISO27001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（P マーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図ります。

全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1)ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2)機密(個人)情報取り扱い各種ルールの遵守
B. 場所に関する施策	(1)ゾーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2)拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1)各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時　②情報の利用時　③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時　⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則りセキュリティ施策を実施

緊急事態や不測の事態への対応

・緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。

・事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

Ⅳ．情報開示に関すること

（1）障害のある受検者等への配慮

■「GTEC」検定版の特別な配慮事項

	免除/配慮	実施回	申請の目安	配慮事項	補足
視覚関係					
1	配慮	一部の回	点字による学習を受けている場合	点字資材による受検［時間延長**あり**（技能ごとに、解答時間を約 1.5 倍～３倍に延長）］ ／解答方法の変更※1	時間管理用の資材を提供します。
2	配慮	一部の回	障がい程度等級が６級程度	拡大冊子による受検［時間延長**あり**（解答時間を約 1.5 倍に延長）］／解答方法の変更※1	写真やイラストがすべて文字化された拡大冊子を提供します。時間管理用の資材を提供します。
3	配慮	全回で実施可	障がい程度等級が７級～14 級程度の場合	拡大冊子による受検（時間延長**なし**）／解答方法の変更※1	
4	配慮	全回で実施可	色弱などの場合	白黒問題冊子での回答	スピーキングについて、白黒問題冊子を利用しながら、タブレットに音声を録音いただきます。
聴覚関係					
5	免除	全回で実施可	音（音声）の聞き取りが困難（両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上が目安）で、話すことも困難な場合	スピーキング・リスニングの免除※2	
6	免除 配慮	全回で実施可	音（音声）の聞き取りが困難（両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上が目安）だが、話すことには問題がない場合	スピーキングを音（音声）聞き取り以外の方法で実施／リスニングの免除※2	スピーキングについて、音（音声）のみで流れる英文を文字化した問題カードとスピーキング用タブレットに表示された文字を読みながら回答いただきます。
7	配慮	全回で実施可	音（音声）の聞き取り方法に配慮が必要な場合	音（音声） の聞き取りに補聴器やヘッドフォンを使用	
きつ音・発話障がい関係					
8	免除	全回で実施可	話すことが困難な場合	スピーキングの免除※2	
9	配慮	一部の回	話し出すこと、話すことに時間を要する場合	スピーキングの時間延長（解答時間を約３倍に延長）	時間管理用の資材を提供します。
10	配慮	全回で実施可	話し方に特徴がある場合	採点者への情報連携	採点者に事前に情報を連携し、注意して音（音声）を聞き取ります。なお、採点基準の観点や段階の変更は行いません 。
上肢不自由					
11	配慮	全回で実施可	上肢不自由の症状があり、英文を記述することに時間を要する場合	解答方法の変更※1／ライティングの時間延長**あり**（解答時間を約 1.5 倍に延長）	時間管理用の資材を提供します。
12	配慮	全回で実施可	上肢不自由の症状がある場合	解答方法の変更※1／ライティングの時間延長**なし**	
発達障がい					
13	配慮	全回で実施可	発達障がいの症状がある場合	解答方法の変更	

※1「解答方法の変更」：点字で解答いただいたり、問題冊子へチェックを入れて解答いただいたり、マークシートを受検者の状況に合わせて拡大して解答をご記入いただいたりすることが可能です。この場合、先生に通常のマークシートに代筆をしていただきます。

※2「免除」：オフィシャルスコア証明書の免除技能とトータルのスコア欄と CEFR 欄には「＊」が表示され、オフィシャルスコア証明書内に『「＊」印は、その技能の受験が免除された場合に表示されています。』の注釈が付きます。

■「GTEC」アセスメント版の特別な配慮事項

	非受検/配慮	実施回	申請の目安	配慮事項	補足
視覚関係					
1	配慮	春夏／秋冬（春夏回と秋冬回で同一の問題版となります）	点字による学習を受けている場合	点字資材による受検［時間延長**あり**（技能ごとに、解答時間を約 1.5 倍～３倍に延長）］ ／解答方法の変更※	2021 年度の春夏回、秋冬回とは異なる問題版となります。成績データについても、春夏回、秋冬回とは別集計となります。時間管理用の資材を提供します。
2	配慮	春夏／秋冬	弱視などの場合	拡大冊子による受検／解答方法の変更※／実施時間の延長は状況に応じて可	読むことに時間がかかる場合、リーディングの実施時間を、1.5 倍以内を目安に延長が可能です。その場合、先生に時間の測定をしていただきます。
3	配慮	春夏／秋冬	色弱などの場合	白黒問題冊子での回答	スピーキングについて、白黒問題冊子を利用しながら、タブレットに音声を録音いただきます。
聴覚関係					
4	非受検 配慮	春夏／秋冬	音（音声）の聞き取りが困難（両耳の平均聴力 レベルが 60 デシベル 以上が目安）で、話すことも困難な場合	スピーキングの非受検／リスニングのスクリプトによる解答（読んで解答）	
5	配慮	春夏／秋冬	音（音声）の聞き取りが困難（両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上が目安）だが、話すことには問題がない場合	スピーキングを音（音声）聞き取り以外の方法で実施／リスニングのスクリプトによる解答（読んで解答）	スピーキングについて、音（音声）のみで流れる英文を文字化した問題カードとスピーキング用タブレットに表示された文字を読みながら回答いただきます
6	配慮	春夏／秋冬	音（音声）の聞き取り方法に配慮が必要な場合	音（音声） の聞き取りに補聴器やヘッドフォンを使用	
きつ音・発話障がい関係					
7	非受検	春夏／秋冬	話すことが困難な場合	スピーキングの非受検	
8	配慮	春夏／秋冬	話し方に特徴がある場合	採点者への情報連携	採点者に事前に情報を連携し、注意して音（音声）を聞き取ります。なお、採点基準の観点や段階の変更は行いません 。
上肢不自由					
9	配慮	春夏／秋冬	上肢不自由の症状がある場合	解答方法の変更※／実施時間の延長は状況に応じて可	ライティングの実施時間については、1.5 倍以内を目安に延長が可能です。その場合、先生に時間の測定をしていただきます。
発達障がい					
10	配慮	春夏／秋冬	発達障がいの症状がある場合	解答方法の変更※	

※「解答方法の変更」：点字で解答いただいたり、問題冊子へチェックを入れて解答いただいたり、マークシートを受検者の状況に合わせて拡大して解答をご記入いただいたりすることが可能です。この場合、先生に通常のマークシートに代筆をしていただきます。

(2)事前／事後学習教材の有無、内容

①事前学習教材(無料)

初めてGTECを受検する生徒が、GTEC独特の出題形式になれることができる、一斉指導用の教材を先生にお渡ししています。「トライアルテスト」「『情報検索』問題集」「『自分の意見を伝える』演習冊子」が含まれており、GTEC受検前の事前準備として活用可能です。

トライアルテスト	GTEC と同様の出題形式の練習問題となっています。生徒が本番で実力を発揮できるよう、GTEC受検前に授業時間40分ほどを使ってトライアルテストを実施し、出題形式に慣れさせることが可能です。
「情報検索」問題集	GTEC Reading Part Bの出題形式に対応した、英文の広告などを読み取る情報検索型の問題集です。短時間で必要な情報のみを引き出すスキャニング力を育成する問題内容となっています。計18題掲載しており、朝学習の時間などにも活用可能となっています。
「自分の意見を伝える」演習冊子	英語によるアウトプット活動の取り組み方を示した演習冊子です。表現活動に入る前のブレインストーミングの活動などの説明も含まれており、段階的な演習を授業冒頭15分ほどで実施することが可能です。

②事後学習教材:スキルUPワーク(無料)

事後学習教材として、生徒一人ひとりにスキルUPワークを配付しています。また、「話すこと」についてはWeb上で学習をすることができます。

スキルUPワーク (聞くこと、読むこと、書くこと)	リスニング・リーディング・ライティングの３技能について、自分の CEFR に対応した学習ページに取り組むことで、効果的な学習ができる付属学習教材です。個人成績票を見て気づいた自分の英語力の強み・弱みに合わせて、技能ごとに学習に取り組むことができます。
スキルUPワーク (話すこと)	2019年より、スピーキングについては、Web上で事後学習ができる付属学習教材が追加されました。個人成績票を見て気づいた自分の英語力の強み・弱みに合わせて、学習に取り組むことができます。

※いずれの技能についても、以下のような構成で学習を促進しています。

・スキルトレーニング：CEFRごとにスラッシュリーディングや要約など、多様な学習法で各技能を学ぶことができます。自分のCEFRと、一つ上のレベルのCEFRに合わせて取り組むことで、CEFRに応じた英語力を伸ばすことができます。

・スキルプラクティス：スキルトレーニングに取り組んだ後の実践練習問題。GTECと同じ形式の練習問題で、スキルトレーニングの取り組みの成果を確認できます。

(3)学習状況等のアンケートの有無、内容

学習状況等のアンケートは特に実施していません。

(4)個人受検の可否

個人受検いただくことはできません。

(5)問題内容の情報提供

・問題冊子と解答解説冊子は、受検後の振り返り等で自由に使用可能。

（6）その他

・教育委員会等への情報提供に係る対応として、学校から教育委員会等への情報提供の元となる書式・集計結果を提供します。前提として、教育委員会等への情報提供は、弊社から直接は行えません。但し教育委員会主催の場合はこの限りではありません。

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Basic タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ

Ⅰ．出題に関すること

（1）出題の基本方針

① 主な対象者
中学校３年生～高校２年生

②測定しようとする資質・能力
＜全タイプ共通＞
「聞くこと」に関する資質・能力、「読むこと」に関する資質・能力、「話すこと」に関する資質・能力、「書くこと」に関する資質・能力。

③出題範囲

タイプ	出題範囲
Basic	義務教育範囲、英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、論理・表現Ⅰ、Ⅱ

④出題方針
実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型４技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる、日本の中高生に適した出題です。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題されており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫しています。
※「知識・技能」を問う問題 … 視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した短文を聞き分ける力や短文の文脈を理解するとともに、語彙選択上最も適切な表現を正確に判断する力を問う問題を出題します。
※「思考力・判断力・表現力」を問う問題 … その場で求められている課題(タスク)を解決する力、全体の概要を理解する力などを問うとともに、相手に伝わるように状況を説明する力や与えられた話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力を問う問題など、発信技能に関する出題も充実しています（語数は非公開）。

⑤出題構成と学習指導要領との対応
GTEC は学習指導要領に則ったテストです。各タイプの学習指導要領との対応関係は以下の通りで、各出題に対応している学習指導要領の科目・項目を「※」で示しています。

Basic

Listening/聞くこと	Reading/読むこと	Speaking/話すこと	Writing/書くこと
A イラスト説明 10 問 （写真など与えられた視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した短文を聞き分ける力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （1）聞くこと　ア ※義務教育範囲 1 目標 （1）聞くこと　ア	**A 短文文脈理解 12 問** （短文の文脈を理解するとともに、語彙選択上最も適切な表現を正確に判断する力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （2）読むこと　ア ※義務教育範囲 1 目標 （2）読むこと　イ	**A 音読 2 問** （英文を読み上げる形式の出題で、状況や英文を理解した上で、正確な発音で音読する力）	**A E メール 1 問** （与えられた E メールで問われる内容について、限られた時間の中で適切な回答を表現する力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （5）書くこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （5）書くこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1 目標 （5）書くこと　ア ※論理・表現Ⅰ 1 目標 （3）書くこと　ア ※論理・表現Ⅰ 1 目標 （3）書くこと　イ ※論理・表現Ⅱ 1 目標 （3）書くこと　ア ※論理・表現Ⅱ 1 目標 （3）書くこと　イ ※義務教育範囲 1 目標 （5）書くこと　ア ※義務教育範囲 1 目標 （5）書くこと　イ
B 会話応答 10 問 （事前予測ができる情報がない中で、不意の質問に対する適当な応答を素早く判断し処理する力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （1）聞くこと　ア	**B-1 概要把握 4 問** （与えられた英文の題材について、短時間で全体の概要を理解する力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （2）読むこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1 目標 （2）読むこと　イ	**B 質問応答 4 問** （図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に応答する力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （3）話すこと［やり取り］　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1 目標	**B 意見展開(Essay) 1 問** （社会的なテーマに対して、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力） ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （5）書くこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ

		(3) 話すこと［やり取り］　ア ※論理表現Ⅰ 1　目標 (1) 話すこと［やり取り］　ア ※論理・表現Ⅱ 1　目標 (1) 話すこと［やり取り］　ア ※義務教育範囲 1　目標 (3) 話すこと［やり取り］　ア ※義務教育範囲 1　目標 (3) 話すこと［やり取り］　イ	1　目標 (5) 書くこと　イ ※論理表現Ⅰ 1　目標 (3) 書くこと　イ ※論理・表現Ⅱ 1　目標 (3) 書くこと　イ
C　課題解決 10 問 ［事前に与えられる視覚情報と音声情報から、その場で求められている課題(タスク)を解決する力］ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 (1) 聞くこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 (1) 聞くこと　ア	**B-2 情報検索 8 問** (与えられた英文の題材について、短時間で必要な情報を引き出す力) ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 (2) 読むこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 (2) 読むこと　ア	**C　ストーリー説明 1 問** (日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力) ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 (4) 話すこと［発表］　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 (4) 話すこと［発表］　ア ※論理表現Ⅰ 1　目標 (2) 話すこと［発表］　ア ※論理・表現Ⅱ 1　目標 (2) 話すこと［発表］　ア	
D　要点理解 10 問 (一定以上の長さの英文を聞き、事前に与えられる英語の質問に答えるため必要な情報を選択、適切な判断をする力) ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	**C　要点理解 12 問** (多めの英文について、趣旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し、必要な情報を読み取る力) ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	**D　意見陳述 1 問** (身近で社会的なテーマに対して、自分の意見とその意見をサポートする理由を言う力) ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標	

1　目標 （1）聞くこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 （1）聞くこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 （1）聞くこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 （1）聞くこと　イ	1　目標 （2）読むこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 （2）読むこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 （2）読むこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 （2）読むこと　イ	（4）話すこと［発表］ イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ 1　目標 （4）話すこと［発表］ イ ※論理表現Ⅰ 1　目標 （2）話すこと［発表］ イ ※論理・表現Ⅱ 1　目標 （2）話すこと［発表］ イ	

⑥出題形式（詳細は「（2）構成等」に記載）

・聞くこと　…　選択式
・読むこと　…　選択式
・話すこと　…　録音式
・書くこと　…　記述式

⑦難易度

CEFR では A1～B1 まで測定可能なテストとなっています。

（2）構成等

①出題形式

Basic

	配点	試験時間	実施方法	出題形式
聞くこと	270 点	約 25 分	筆記	選択式
読むこと	270 点	約 45 分	筆記	選択式
話すこと	270 点	約 25 分	タブレット	録音式
書くこと	270 点	約 25 分	筆記	記述式

※実施方法に関する補足
聞くこと　…　CD による一斉実施方式。
話すこと　…　録音方式（CBT）。

②出題範囲と割合

タイプ	出題範囲	出題割合
Basic	義務教育範囲	約 1 割
	英語コミュニケーションⅠ、論理・表現Ⅰ	約 8～9 割
	英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅱ	約 1～2 割

※出題語彙・文法　…　中学～高校 1 年前半の範囲の語彙・文法レベル
※出題割合に関する補足
出題語彙・文法は、中学～高校 1 年前半の範囲の語彙・文法レベルであることから、必履修範囲の割合を約 8～9 割、それ以外を約 1～2 割としています。

（3）難易度設定の考え方・方法
（略）※Advanced の申請様式参照

（4）基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫
（略）※Advanced の申請様式参照

Ⅲ．運営に関すること

（1）問題の質を確保するための方法
（略）※Advanced の申請様式参照
（2）学校における実施方法
（略）※Advanced の申請様式参照
（3）採点の方法と体制
（略）※Advanced の申請様式参照
（4）情報管理体制
（略）※Advanced の申請様式参照

Ⅳ．情報開示に関すること

（1）障害のある受検者等への配慮
（略）※Advanced の申請様式参照
（2）事前／事後学習教材の有無、内容
（略）※Advanced の申請様式参照
（3）学習状況等のアンケートの有無、内容
（略）※Advanced の申請様式参照
（4）個人受検の可否
（略）※Advanced の申請様式参照
（5）問題内容の情報提供
（略）※Advanced の申請様式参照
（6）その他
（略）※Advanced の申請様式参照

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC　Core タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：基本タイプ

Ⅰ．出題に関すること

(1)出題の基本方針

①主な対象者
中学校１年生～高校１年生

②測定しようとする資質・能力
＜全タイプ共通＞
「聞くこと」に関する資質・能力、「読むこと」に関する資質・能力、「話すこと」に関する資質・能力、「書くこと」に関する資質・能力。

③出題範囲

タイプ	出題範囲
Core	義務教育範囲、英語コミュニケーションⅠ

④出題方針
実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型４技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる、日本の中高生に適した出題です。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題されており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫しています。
※「知識・技能」を問う問題 … 視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した短文を聞き分ける力や短文の文脈を理解するとともに、語彙選択上最も適切な表現を正確に判断する力を問う問題を出題します。
※「思考力・判断力・表現力」を問う問題 … その場で求められている課題(タスク)を解決する力、全体の概要を理解する力などを問うとともに、相手に伝わるように状況を説明する力や与えられた話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力を問う問題など、発信技能に関する出題も充実しています（語数は非公開）。

⑤出題構成と学習指導要領との対応
GTEC は学習指導要領に則ったテストです。各タイプの学習指導要領との対応関係は以下の通りで、各出題に対応している学習指導要領の科目・項目を「※」で示しています。

Core（義務教育範囲も含む）

Listening/聞くこと	Reading/読むこと	Speaking/話すこと	Writing/書くこと
A イラスト説明 8問 （写真など与えられた視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した短文を聞き分ける力） ※義務教育範囲 1 目標 （1）聞くこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （1）聞くこと　ア	A 短文文脈理解 10問 （短文の文脈を理解するとともに、語彙選択上最も適切な表現を正確に判断する力） ※義務教育範囲 1 目標 （2）読むこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （2）読むこと　ア	A 音読 2問 （英文を読み上げる形式の出題で、状況や英文を理解した上で、正確な発音で音読する力）	A Eメール 1問 （与えられたEメールで問われる内容について、限られた時間の中で適切な回答を表現する力） ※義務教育範囲 1 目標 （5）書くこと　ア ※義務教育範囲 1 目標 （5）書くこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （5）書くこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （5）書くこと　イ
B 会話応答 8問 （事前予測ができる情報がない中で、不意の質問に対する適当な応答を素早く判断し処理する力） ※義務教育範囲 1 目標 （1）聞くこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標（1）聞くこと　ア	B-1 情報検索 8問 （与えられた英文の題材について、短時間で必要な情報を引き出す力） ※義務教育範囲 1 目標 （2）読むこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （2）読むこと　ア	B 質問応答 4問 （図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に応答する力） ※義務教育範囲 1 目標 （3）話すこと［やり取り］　ア ※義務教育範囲 1 目標 （3）話すこと［やり取り］　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （3）話すこと［やり取り］　ア	B 意見展開(Essay) 1問 （与えられた日常的な話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力） ※義務教育範囲 1 目標 （5）書くこと　ア ※義務教育範囲 1 目標 （5）書くこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1 目標 （5）書くこと　イ
C 課題解決 8問 ［事前に与えられる視覚情報と音声情報から、その場で求められている課題(タスク)を解決する力］ ※義務教育範囲 1 目標 （1）聞くこと　ア	B-2 概要把握 2問 （与えられた英文の題材について、短時間で全体の概要を理解する力） ※義務教育範囲 1 目標 （2）読むこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	C ストーリー説明 1問 （日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力） ※義務教育範囲 1 目標 （4）話すこと［発表］　ア	

※義務教育範囲 1　目標 （1）聞くこと　イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 （1）聞くこと　ア	1　目標 （2）読むこと　イ	※義務教育範囲 1　目標 （4）話すこと［発表］ イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 （4）話すこと［発表］ ア	
D 要点理解 8問 （一定以上の長さの英文を聞き、事前に与えられる英語の質問に答えるため必要な情報を選択、適切な判断をする力） ※義務教育範囲 1　目標 （1）聞くこと　ア ※義務教育範囲 1　目標 （1）聞くこと　イ ※義務教育範囲 1　目標 （1）聞くこと　ウ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 （1）聞くこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 （1）聞くこと　イ	C 要点理解 8問 （多めの英文について、趣旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し、必要な情報を読み取る力） ※義務教育範囲 1　目標 （2）読むこと　イ ※義務教育範囲 1　目標 （2）読むこと　ウ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 （2）読むこと　ア ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 （2）読むこと　イ	D 意見陳述 1問 （身近なテーマに対して、自分の意見とその意見をサポートする理由を言う力） ※義務教育範囲 1　目標 （4）話すこと［発表］ ア ※義務教育範囲 1　目標 （4）話すこと［発表］ イ ※英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 1　目標 （4）話すこと［発表］ イ	

※実施方法に関する補足
聞くこと　…　CD による一斉実施方式。
話すこと　…　録音方式（CBT）。

⑥出題形式（詳細は「(2)構成等」に記載）
＜全タイプ共通＞
・聞くこと　…　選択式
・読むこと　…　選択式
・話すこと　…　録音式
・書くこと　…　記述式

⑦難易度
CEFR では A1～A2 まで測定可能なテストとなっています。

(2)構成等
①出題形式
Core

	配点	試験時間	実施方法	出題形式
聞くこと	210 点	約 20 分	筆記	選択式
読むこと	210 点	約 32 分	筆記	選択式
話すこと	210 点	約 25 分	タブレット	録音式
書くこと	210 点	約 25 分	筆記	記述式

②出題範囲と割合

タイプ	出題範囲	出題割合
Core	義務教育範囲、英語コミュニケーションⅠ	10 割

※出題語彙・文法　…　中学の学習指導要領の範囲の語彙・文法レベル

(3)難易度設定の考え方・方法
(略)※Advanced の申請様式参照

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫
(略)※Advanced の申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法
(略)※Advanced の申請様式参照
(2)学校における実施方法
(略)※Advanced の申請様式参照
(3)採点の方法と体制
(略)※Advanced の申請様式参照
(4)情報管理体制
(略)※Advanced の申請様式参照

Ⅳ. 情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮
(略)※Advanced の申請様式参照
(2)事前／事後学習教材の有無、内容
(略)※Advanced の申請様式参照
(3)学習状況等のアンケートの有無、内容
(略)※Advanced の申請様式参照
(4)個人受検の可否
(略)※Advanced の申請様式参照
(5)問題内容の情報提供
(略)※Advanced の申請様式参照
(6)その他
(略)※Advanced の申請様式参照

（様式3）

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC　Advancedタイプ・Basicタイプ・Coreタイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準／基本タイプ

Ⅰ．出題に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準				
			Ⅰ．(1)	Ⅰ．(2)	Ⅰ．(3)	Ⅰ．(4)	Ⅰ．(5)

Ⅱ．結果提供に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			Ⅱ．(1)	Ⅱ．(2)

Ⅲ．運営に関すること

＜提出必須の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項（試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等）	案内書	資料1
学校用実施マニュアル	GTEC実施の手引き	資料2

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

Ⅳ．情報開示に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

125000

スコア型英語4技能検定

GTEC

Advanced・Basic・Coreタイプ

2021年度（令和3年度）案内書

※年度を通してご活用ください

「GTEC」は、株式会社ベネッセコーポレーションの登録商標です。

Contents

1. 2021年度のトピックス

- 主な変更点 P.2
- 表彰状のご案内 P.3
- 「GTEC」早見表 P.4

2. 2021年度スケジュール表

- 年間計画表 P.5

3. 実施の流れ

- 検定版の実施の流れ P.7
- アセスメント版の実施の流れ P.8

4. 検定版の商品概要

- 商品概要 P.9
- 検定時間割 P.10
- 実施教室例 P.10
- お届け資材 P.11
- 欠席者への対応 P.11
- 成績返却スケジュール P.11
- 成績返却物 P.12
- お支払い P.12
- 特別な配慮事項 P.13

5. アセスメント版の商品概要

- 商品概要 P.15
- お届け資材 P.16
- 欠席者への対応 P.16
- 4技能実施パターン P.17
- 成績返却スケジュール P.18
- 成績返却物 P.18
- お支払い P.18
- 特別な配慮事項 P.19

6. 大学入試における「GTEC」スコアの活用

- 大学への提供方法 P.21
- 調査書・指導要録への記載方法 P.22

7. 付属学習教材「スキルUPワーク」・事前演習セット

- スキルUPワーク P.23
- 事前演習セット P.24

8. お申込方法

- 検定版のお申込 P.25
- アセスメント版のお申込 P.27

9. 検定受検規約

- 「GTEC」検定受検規約 P.29

1 2021年度のトピックス

主な変更点

検定版

【変更】検定日は、年間3回となります（P.9参照）。

・・・2021年度の検定日は、年間3回実施とし、すべての回において全学年に受検いただけます。
※Advancedは年間3回、Basicは年間2回、Coreは年間1回となります。
※2020年度は英語外部検定試験導入の延期に伴う救済措置として高校3年生専用の検定日を2回設け、計5回の検定日が設定されておりました。

【変更】時間割を見直しています（P.10参照）。

・・・2020年度の時間割から実施総時間を30分短縮し、Advanced・Basicは12:50まで、Coreは12:30までに終了する時間割としています。

【変更】スキルUPワークの発送日を変更しております。

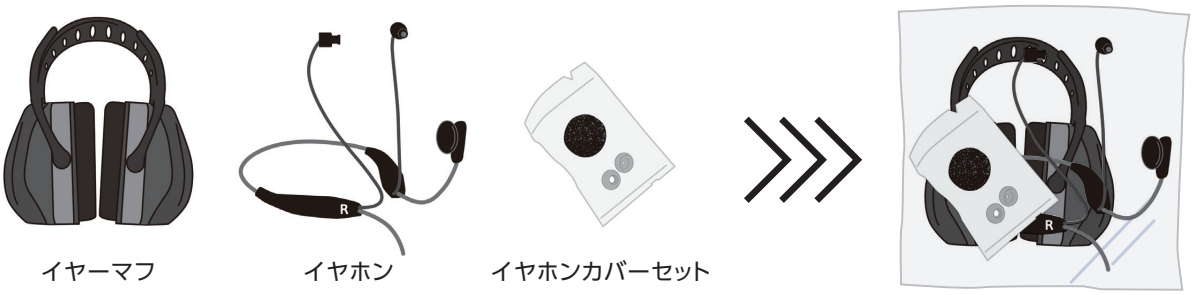
・・・スキルUPワークは、1～2か月前にお送りさせていただきます。お届け日の希望は承れませんので、ご了承ください。

【2020年度の変更を継続】イヤーマフ・イヤホン・除菌シートを、申込人数分お送りします。

・・・感染症対策として、引き続きイヤーマフ・イヤホンは申込人数分お送りさせていただきます。ただしタブレットは、申込人数の半数となりますので、タブレットを拭いていただく除菌シートをお送りします。

【変更】イヤーマフ・イヤホン・イヤホンカバーセットは、配付しやすいよう3つセットで袋に入れた状態でお届けします。

・・・配付が一度で済みますので、スピーキングの準備時間を短縮しています。



イヤーマフ　イヤホン　イヤホンカバーセット

【変更】検定受検規約を一部変更しております（P.29参照）。

・・・第1条7項の「請求対象外として認められる欠席理由」について、内容の見直し・追加を行っています。

アセスメント版

【2020年度の変更を継続】ヘッドセット・除菌シートを、申込人数分お送りします。

・・・感染症対策として、引き続きヘッドセットは申込人数分お送りさせていただきます。ただしタブレットは、上限50台となりますので、タブレットを拭いていただく除菌シートをお送りします。

検定版・アセスメント版 共通

【新規】スコアの上位者・スコアの伸びの上位者等へ、表彰状をお送りします（P.3参照）。

・・・生徒の英語を学ぶ意欲を高める一助になればと思い、表彰状を提供いたします。ぜひ帳票返却時に、該当の生徒へお渡しください。

表彰状のご案内

表彰状①

4技能のトータルスコアが1000以上の方へ提供

表彰状②

トータルスコア・各技能のスコア上位3名へ提供

※受検人数20名以上の場合のみ

表彰状③

トータルスコアの伸び上位10名へ提供

※受検人数20名以上の場合のみ　※各技能の伸び上位者への提供はありません

■お申込単位での集計・提供となります。
■検定版・アセスメント版いずれもご提供します。
■アセスメント版で3技能お申込の場合は、3技能トータルスコアとなります（表彰状①の提供はありません）。
■同順位が複数名いる場合は、該当者全員へご提供します。
■帳票と一緒にお届けします。
■再発行はできません。

※現在開発中のため、表彰状のデザイン・仕様等が今後変更になる可能性があります。

「GTEC」早見表

	検定版			アセスメント版	
技能数	4技能			3技能 (リーディング・リスニング・ライティング)	4技能
受検日	第1回 6月12日(土)	第2回 8月28日(土)	第3回 12月4日(土)	春夏回:4月1日(木)～9月30日(木) 秋冬回:10月1日(金)～3月31日(木)	
問題回	48回	49回	50回	春夏回: 47回 秋冬回:Advanced 49回 Basic 48回 Core 49回	
受検可能な問題タイプ	Advanced Basic	Advanced Core	Advanced Basic	Advanced/Basic/Core	
会場・試験監督	学校会場・先生監督				
申込受付開始日時	2021年3月1日(月)AM8:00頃、お申込WEBページオープン予定				
申込締切日時	4月23日(金) 17:00注1	6月4日(金) 17:00	9月13日(月) 17:00	実施日の15日前まで ※タブレットの台数に限りがあるため、お早めにお申込ください。	
特別な配慮申請締切日時	4月23日(金) 17:00	6月4日(金) 17:00	9月13日(月) 17:00	実施日の15日前まで	
追加実施	検定日後2か月間可 ※オフィシャルスコアではなくアセスメントとしての結果返却になります。その場合でも検定料金でのご請求となりますのでご了承ください。 ※スピーキングについては、タブレットの台数に限りがあるため、実施希望日に添えない場合があります。			可	可 ※タブレットの再送が必要な場合は、タブレットの台数に限りがあるため、実施希望日に添えない場合があります。
タブレット送付台数	申込人数の半数 ＋ 予備 ※予備のタブレットは25台につき1台			–	上限50台 ※予備のタブレットは2台
スキルUPワーク	Ver.05	Ver.05	Ver.06	春夏回:Ver.05 秋冬回:Ver.06	
スキルUPワーク発送日	検定日の約1～2か月前 ※お届け希望日は承れません。 ※お申込内容に不備がある場合は、上記期間外でのお届けとなる可能性があります。			3技能試験資材と同送 ※お届け希望日がある場合は、ご連絡ください。	
成績返却物	生徒向け:オフィシャルスコア証明書、生徒用帳票 先生向け:教師用帳票			生徒向け:生徒用帳票 先生向け:教師用帳票	
結果発送予定日	8月16日(月)	10月27日(水)	2月12日(土)	マークシート弊社到着後 約1.5か月～2か月後注2	マークシートおよびタブレット両方が弊社到着後 約1.5か月～2か月後注2
FINE SYSTEM搭載日	8月4日(水)	10月20日(水)	2月2日(水)		
請求額	5,980円(税込)			3,380円(税込)	5,300円(税込)
標準受検料	6,380円(税込)			3,580円(税込)	5,700円(税込)

注1 事前お届け資材を連休前(4月中)にお届け希望の場合は、3月26日(金)17:00までにお申込ください(その後の申込内容変更はできません)。
注2 年末年始の関係上、12月受付分においては、結果返却まで3か月程度を要する場合があります。
※アセスメント版秋冬回のAdvanced・Coreタイプは第2回検定、Basicタイプは第1回検定の問題内容と同一です。

2 2021年度スケジュール表

検定日のご案内

第1回	第2回	第3回
6月12日(土)	8月28日(土)	12月4日(土)

年間計画表

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1 木	アセスメント春夏回開始	1 土		1 火		1 木		1 日		1 水	第2回検定解答・解説集お届け
2 金		2 日		2 水		2 金		2 月		2 木	
3 土		3 月	憲法記念日	3 木		3 土		3 火		3 金	
4 日		4 火	みどりの日	4 金	第2回検定申込締切日	4 日		4 水		4 土	
5 月		5 水	こどもの日	5 土		5 月		5 木		5 日	
6 火		6 木		6 日		6 火		6 金		6 月	
7 水		7 金		7 月	第1回検定資材お届け	7 水		7 土		7 火	
8 木		8 土		8 火		8 木		8 日	山の日	8 水	
9 金		9 日		9 水		9 金		9 月	振り替え休日	9 木	
10土		10月		10木		10土		10火		10金	
11日		11火		11金		11日		11水		11土	
12月		12水		12土	第1回検定日	12月		12木		12日	
13火		13木		13日		13火		13金		13月	第3回検定申込締切日
14水		14金		14月	第1回検定回収日	14水		14土		14火	
15木		15土		15火	第1回検定解答・解説集お届け	15木		15日		15水	
16金		16日		16水		16金		16月	第1回検定結果発送予定日	16木	
17土		17月		17木		17土		17火		17金	
18日		18火		18金		18日		18水		18土	
19月		19水		19土		19月		19木		19日	
20火		20木		20日		20火		20金		20月	敬老の日
21水		21金		21月		21水		21土		21火	
22木		22土		22火		22木	海の日	22日		22水	
23金	第1回検定申込締切日	23日		23水		23金	スポーツの日	23月	第2回検定資材お届け	23木	秋分の日
24土		24月		24木		24土		24火		24金	
25日		25火		25金		25日		25水		25土	
26月		26水		26土		26月		26木		26日	
27火		27木		27日		27火		27金		27月	
28水		28金		28月		28水		28土	第2回検定日	28火	
29木	昭和の日	29土		29火		29木		29日		29水	
30金		30日		30水		30金		30月	第2回検定回収日	30木	
		31月				31土		31火			

■検定版のスキルUPワークは、検定日の約1～2か月前にお届けします。　■国民の祝日は、変更になる場合があります。

アセスメント回のご案内

春夏回
4月1日(木)～9月30日(木)

秋冬回
10月1日(金)～3月31日(木)

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 金	アセスメント秋冬回開始	1 月		1 水		1 土	元日	1 火		1 火	
2 土		2 火		2 木		2 日		2 水		2 水	
3 日		3 水	文化の日	3 金		3 月		3 木		3 木	
4 月		4 木		4 土	第3回検定日	4 火		4 金		4 金	
5 火		5 金		5 日		5 水		5 土		5 土	
6 水		6 土		6 月	第3回検定回収日	6 木		6 日		6 日	
7 木		7 日		7 火		7 金		7 月		7 月	
8 金		8 月		8 水	第3回検定解答・解説集お届け	8 土		8 火		8 火	
9 土		9 火		9 木		9 日		9 水		9 水	
10日		10水		10金		10月	成人の日	10木		10木	
11月		11木		11土		11火		11金	建国記念の日	11金	
12火		12金		12日		12水		12土	第3回検定結果発送予定日	12土	
13水		13土		13月		13木		13日		13日	
14木		14日		14火		14金		14月		14月	
15金		15月		15水		15土		15火		15火	
16土		16火		16木		16日		16水		16水	
17日		17水		17金		17月		17木		17木	
18月		18木		18土		18火		18金		18金	
19火		19金		19日		19水		19土		19土	
20水		20土		20月		20木		20日		20日	
21木		21日		21火		21金		21月		21月	春分の日
22金		22月		22水		22土		22火		22火	
23土		23火	勤労感謝の日	23木		23日		23水	天皇誕生日	23水	
24日		24水		24金		24月		24木		24木	
25月		25木		25土		25火		25金		25金	
26火		26金		26日		26水		26土		26土	
27水	第2回検定結果発送予定日	27土		27月		27木		27日		27日	
28木		28日		28火		28金		28月		28月	
29金		29月	第3回検定検定資材お届け	29水		29土				29火	
30土		30火		30木		30日				30水	
31日				31金		31月				31木	

検定版の実施の流れ

各検定回の申込締切日まで

Benesse High School Onlineより申込
[必要な場合のみ] 特別な配慮の申請

- P.25を参照して、WEBよりお申込ください。
- 申込締切日後の新規申込・キャンセル・受検人数の変更・問題タイプの変更・学年やコースの変更・資材部数の変更はできません。
- 特別な配慮を希望する場合は、P.13を参照して申請してください。

お申込後 ※検定回ごとに送信するため、申込直後ではありません

申込確認FAXの受領
申込内容の確認

- 申込内容に誤りがある場合は、至急「GTEC」お問い合わせ窓口までご連絡ください。

検定日の約1〜2か月間前

事前お届け資材の到着

- お届け資材内容は、P.11を参照してください。
- 事前お届け資材のお届け日時指定はできません。
- 「受検の前に読むしおり」を受検者へ配付してください。
- 特に「GTEC」を初めて受検される場合は、「事前演習セット」をご活用ください(P.24参照)。
- 「とりまとめ先生用実施の手引き」「試験監督先生用マニュアル」をご覧いただき、検定日当日の運営準備をお願いします。
- 「スキルUPワーク」は、事前学習・事後学習いずれにも活用いただけます(P.23参照)。

検定日の3〜5日前

試験資材の到着

- 万が一不足物がある場合は、至急「GTEC」お問い合わせ窓口までご連絡ください。
- 試験資材のお届け日時指定はできません。
- タブレット・問題冊子・実施用CDは、検定日当日まで鍵のかかる場所で保管してください。

検定日

- 「検定時間割(P.10)」にしたがい、「試験監督先生用マニュアル」に添って、ご実施をお願いします。
- 3技能試験終了後、問題冊子は一度回収して、解答・解説集が届くまで保管してください。

検定日翌週月曜日

マークシート・試験資材の回収

- 「とりまとめ先生用実施の手引き」に添って、回収準備をお願いします。
- 回収日の変更はできません。休校等やむをえない場合は、「GTEC」お問い合わせ窓口までご連絡ください。

検定日翌週

解答・解説集の到着

- 解答・解説集とあわせて、問題冊子を受検者へ再配付してください。

各検定回の結果発送予定日

成績返却物の到着

- 返却物は、P.12を参照してください。

アセスメント版の実施の流れ

実施日の15日前まで

Benesse High School Onlineより申込
[必要な場合のみ] 特別な配慮の申請

- P.27を参照して、WEBよりお申込ください。
- 特別な配慮を希望する場合は、P.19を参照して申請してください。

お申込後　※実施回にあわせて送信するため、申込直後ではありません

申込確認FAXの受領
申込内容の確認

- 申込内容に誤りがある場合は、至急「GTEC」お問い合わせ窓口までご連絡ください。

3技能資材は実施日の1～3週間前
スピーキング資材は実施日の3～5営業日前

試験資材・スキルUPワーク・
解答・解説集の到着

- お届け資材内容は、P.16を参照してください。
- 万が一不足物がある場合は、至急「GTEC」お問い合わせ窓口までお電話ください。
- 「受検の前に読むしおり」を受検者へ配付してください。
- 特に「GTEC」を初めて受検される場合は、「事前演習セット」をご活用ください（P.24参照）。
- 「とりまとめ先生用実施の手引き」「試験監督先生用マニュアル」をご覧いただき、実施日の運営準備をお願いします。
- 「スキルUPワーク」「事前演習セット」を事前にお届け希望の場合は、「GTEC」お問い合わせ窓口までご連絡ください。
- 「スキルUPワーク」は、事前学習・事後学習いずれにも活用いただけます（P.23参照）。
- 解答・解説集は、実施終了後、配付してください。

実施日

- 「試験監督先生用マニュアル」に添って、ご実施をお願いします。

実施日後

マークシート・試験資材の回収

- 「とりまとめ先生用実施の手引き」に添って、回収準備をお願いします。
- 4技能実施パターンによって、回収タイミングが異なります。P.17を参照ください。

マークシート・タブレット
弊社到着後約1.5か月～2か月後

成績返却物の到着

- 返却物は、P.18を参照してください。

商品概要

技能数	4技能		
受検日	第1回 6月12日(土)	第2回 8月28日(土)	第3回 12月4日(土)
問題回	48回	49回	50回
受検可能な問題タイプ	Advanced Basic	Advanced Core	Advanced Basic
会場・試験監督	学校会場・先生監督		
申込受付開始日時	2021年3月1日(月)AM8:00頃、お申込WEBページオープン予定		
申込締切日時	4月23日(金) 17:00注	6月4日(金) 17:00	9月13日(月) 17:00
特別な配慮申請 締切日時	4月23日(金) 17:00	6月4日(金) 17:00	9月13日(月) 17:00
追加実施	検定日後2か月間可 ※オフィシャルスコアではなくアセスメントとしての結果返却になります。その場合でも検定料金でのご請求となりますのでご了承ください。 ※スピーキングについては、タブレットの台数に限りがあるため、実施希望日に添えない場合があります。		
タブレット送付台数	申込人数の半数 ＋ 予備 ※予備のタブレットは25台につき1台		
スキルUPワーク	Ver.05	Ver.05	Ver.06
スキルUPワーク発送日	検定日の約1～2か月前 ※お届け希望日は承れません。 ※お申込内容に不備がある場合は、上記期間外でのお届けとなる可能性があります。		
成績返却物	生徒向け:オフィシャルスコア証明書、生徒用帳票 先生向け:教師用帳票		
結果発送予定日	8月16日(月)	10月27日(水)	2月12日(土)
FINE SYSTEM搭載日	8月4日(水)	10月20日(水)	2月2日(水)
請求額	5,980円(税込)		
標準受検料	6,380円(税込)		

注 事前お届け資材を連休前(4月中)にお届け希望の場合は、3月26日(金)17:00までにお申込ください(その後の申込内容変更はできません)。

■検定版は4技能のみのご提供です。スピーキング受検なしでの3技能検定はありません。
※受検技能数が不足している場合も、4技能検定料金でのご請求となります。

■弊社が定める受検規約(P.29)と検定時間割(P.10)にしたがって運営し、スピーキング前半受検者と後半受検者にグループを分けて実施してください。
※規約に反した場合や時間割通りに行われない場合は、検定として認められません。

■検定日当日に、スピーキングタブレットを使用して顔写真を撮影し、オフィシャルスコア証明書に顔写真を印刷します。

■各検定回のAdvancedタイプとBasicタイプのスピーキングの問題は同一です。

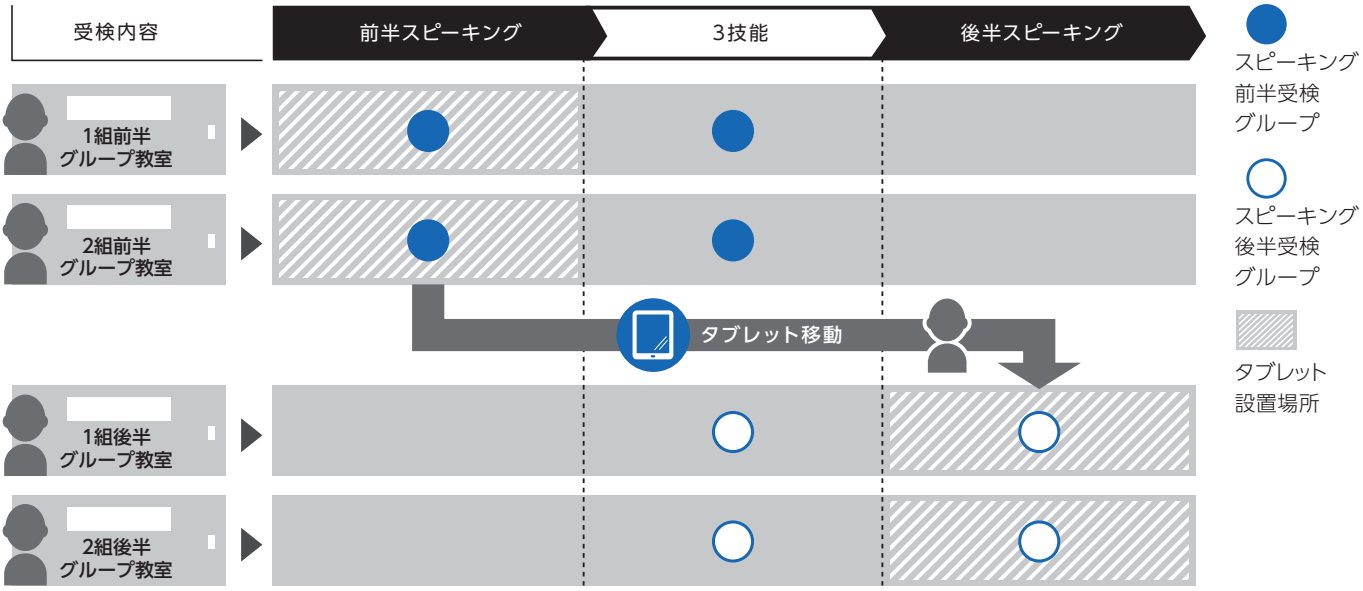
検定時間割

■問題漏洩防止の観点から、下記時間割にてご実施いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

	Advanced・Basic		Core	
スピーキング **前半** 受検グループ	8:35	全体注意事項確認	8:35	全体注意事項確認
	8:40	スピーキング試験の資材配付・準備	8:40	スピーキング試験の資材配付・準備
	9:05	**スピーキング試験**	**9:05**	**スピーキング試験**
	9:25	片づけ・資材の回収	9:25	片づけ・資材の回収
	9:35	トイレ休憩	9:35	トイレ休憩
	9:45	マークシート解答用紙記入・問題冊子の配付	9:45	マークシート解答用紙記入・問題冊子の配付
	9:55	**リーディング・リスニング・ライティング試験**	**9:55**	**リーディング・リスニング・ライティング試験**
	11:40	マークシート解答用紙・問題冊子の回収	11:20	マークシート解答用紙・問題冊子の回収
	11:45	待機時間	11:25	待機時間
	11:55	終了	11:35	終了
スピーキング **後半** 受検グループ	9:30	全体注意事項確認	9:30	全体注意事項確認
	9:35	待機時間	9:35	待機時間
	9:45	マークシート解答用紙記入・問題冊子の配付	9:45	マークシート解答用紙記入・問題冊子の配付
	9:55	**リーディング・リスニング・ライティング試験**	**9:55**	**リーディング・リスニング・ライティング試験**
	11:40	マークシート解答用紙・問題冊子の回収	11:20	マークシート解答用紙・問題冊子の回収
	11:45	トイレ休憩	11:25	トイレ休憩
	11:55	スピーキング試験の資材配付・準備	11:35	スピーキング試験の資材配付・準備
	12:20	**スピーキング試験**	**12:00**	**スピーキング試験**
	12:40	片づけ・資材の回収	12:20	片づけ・資材の回収
	12:50	終了	12:30	終了

実施教室例

■スピーキング前半受検と後半受検の2つのグループに分かれて、タブレットを移動して実施します。
■試験中に前半グループ・後半グループが接触しないよう、ご協力お願いいたします。



お届け資材

事前お届け資材
（検定日の約1～2か月間前）

- ☐ 付属学習教材（スキルUPワーク）
- ☐ 付属学習教材（スキルUPワーク）CD
  ※先生用に2枚
- ☐ 事前演習セット
- ☐ 受検の前に読むしおり
- ☐ とりまとめ先生用実施の手引き
- ☐ 試験監督先生用マニュアル
- ☐ GTECポスター

試験資材
（検定日の3～5日前）

3技能用資材

- ☐ 納品書・請求書・手引き等の入った封筒
- ☐ ビニール袋・荷造り用ひも
- ☐ 問題冊子（2種類）
- ☐ 実施用CD（2枚組）
- ☐ 問題冊子回収用封筒
- ☐ タブレット管理カード・マークシート解答用紙セット

解答・解説集は、検定日翌週にお届けします。

スピーキング用資材

- ☐ 納品書・受検者集計表・手引き等の入った封筒
- ☐ ビニール袋・荷造り用ガムテープ
- ☐ 先生用タブレット
- ☐ 生徒用タブレット
- ☐ イヤーマフ
- ☐ イヤホン
- ☐ イヤホンカバーセット

※1つの袋に入れてお届けします。

- ☐ イヤホンカバーセット・除菌シート回収用ビニール袋
- ☐ テスト版識別コードのお知らせレター
- ☐ 除菌シート

■タブレットは、「申込人数の半数」をお届けします（予備のタブレットは25台につき1台）。

■実施日・事前お届け資材到着日・試験資材到着日・回収日の指定・変更はできません。事前お届け資材は、検定日の約1～2か月前に一律お届けさせていただきます。

■タブレットは充電をしてお届けします。充電器のお届けはありません。

【お届け箱数目安】

※「お申込人数」は1申込あたりの人数です。

※「箱数」は目安となります。お申込状況により、実際のお届け箱数は変動する場合がございますので、ご了承ください。

お申込人数	箱数（目安）
100-200	15-25
200-300	25-35
300-400	35-45
400-500	45-55
500-600	55-65
600-700	65-75
700-800	75-85
800-900	85-95
900-1,000	95-105
1,000～	105～

欠席者への対応

■当日やむをえず欠席者が発生した場合は、検定日翌火曜日より2か月以内に限り、該当生徒のみ検定回を追加受検いただけます。（第1回検定:8/16回収分まで　第2回検定:11/1回収分まで　第3回検定:2/8回収分まで）

※アセスメントとしての実施となり、オフィシャルスコア証明書は提供できません。また料金は検定料金となりますので、ご了承ください。

■タブレットは一度すべて回収し、後日上限5台+予備1台をお送りします（対象人数が多い場合は、ご相談ください）。「GTEC」お問い合わせ窓口までご連絡をお願いします。タブレットの在庫状況により、ご希望日に添えない場合がありますので、ご了承ください。

■全員が検定日に時間割通り実施ができないことが事前にわかっている場合は、お申込をアセスメント版へ変更いただきますようお願いいたします。

成績返却スケジュール

第1回	第2回	第3回
8月16日（月）発送予定	10月27日（水）発送予定	2月12日（土）発送予定

成績返却物

生徒向け返却物

CEFR-J

- 個人成績
- 技能別、トータルの「GTEC」スコア、CEFR-Jレベル

生徒用帳票
(SCORE REPORT)

CEFR

- 技能別、トータルの「GTEC」スコア、CEFRレベル
- 技能別コメント

オフィシャルスコア証明書
(OFFICIAL SCORE CERTIFICATE)

先生向け返却物

CEFR-J

- 学年の概況
- 学年の各技能成績
- クラス別成績
- 生徒ピックアップ
- 個人成績一覧

教師用帳票

インターネットフォルダ
掲載データ

CEFR-J

- 個人成績一覧(CSV)
- クラス別設問別正解率一覧(CSV)
- 受検者全員のライティング答案(PDF)
- スピーキングPart CとPart Dの成績上位・中位者の音声データ(各2名分)
- 教師用帳票(PDF)

※「インターネットフォルダ」のご利用には先生個人ID・パスワードが必要となります。

■帳票の再発行をご希望される場合は「GTEC」お問い合わせ窓口までご連絡ください。
※お届けに2〜3週間かかります。
※オフィシャルスコア証明書の再発行は、有効期限内(検定日から2年間)のものに限ります。
※生徒用帳票の再発行は、前年度分までに限ります。

お支払い

■試験資材の封筒に同封の郵便振替用紙(手数料弊社負担)に、必要事項を記入のうえ、申込人数分をお支払いください。※請求書は、Benesse High School Onlineよりダウンロードすることが可能です。

■検定受検規約の第1条7項(P.29)に定める①〜⑧いずれかにあてはまり、欠席者の後日受検ができない場合、申請書の提出を条件に、人数変更を承ります。検定日より2週間以内に、「GTEC」お問い合わせ窓口までご連絡ください。

人数変更の申請手順　※申請可能期間は、検定日より2週間です。

- 申請される生徒の欠席理由が、「GTEC」検定受検規約の第1条7項に記載されている内容にあてはまることをご確認ください。
- 「GTEC」お問い合わせ窓口までお電話いただき、その旨をお伝えください。『2021年度「GTEC」検定版 申込人数変更申請書』をFAXいたします。
- 『2021年度「GTEC」検定版　申込人数変更申請書』に必要事項をご記入のうえ、実施責任者先生の捺印をお願いいたします。
- 記入・捺印した『2021年度「GTEC」検定版　申込人数変更申請書』を、5日以内に弊社までFAXでお送りください。

特別な配慮事項

■特別な配慮を希望する場合は、配慮申請締切日時までに申請が必要です。申請方法の詳細は、Benesse High School Online上の「特別な配慮の申請の手引き」をご覧ください。締切日時以降の申請は、お受けできません。

■配慮内容の詳細については、Benesse High School Online上の「特別な配慮について（配慮事項一覧）」をご覧ください。

	免除/配慮	対応回	申請の目安	配慮事項	補足
視覚関係					
1	配慮	第1回、第2回のみ実施可	点字による学習を受けている場合	点字資材による受検[時間延長あり（技能ごとに、解答時間を約1.5倍～3倍に延長）] ／解答方法の変更※1	時間管理用の資材を提供します。
2	配慮	第1回、第2回のみ実施可	障がい程度等級が6級程度	拡大冊子による受検[時間延長あり（解答時間を約1.5倍に延長）]／解答方法の変更※1	写真やイラストがすべて文字化された拡大冊子を提供します。時間管理用の資材を提供します。
3	配慮	全回で実施可	障がい程度等級が7級～14級程度の場合	拡大冊子による受検（時間延長なし）／解答方法の変更※1	
4	配慮	全回で実施可	色弱などの場合	白黒問題冊子での解答	スピーキングについて、白黒問題冊子を利用しながら、タブレットに音声を録音いただきます。
聴覚関係					
5	免除	全回で実施可	音（音声）の聞き取りが困難（両耳の平均聴力レベル60デシベル以上が目安）で、話すことも困難な場合	スピーキング・リスニングの免除※2	
6	免除 配慮	全回で実施可	音（音声）の聞き取りが困難（両耳の平均聴力レベル60デシベル以上が目安）だが、話すことには問題がない場合	スピーキングを音（音声）聞き取り以外の方法で実施／リスニングの免除※2	スピーキングについて、音（音声）のみで流れる英文を文字化した問題カードとスピーキング用タブレットに表示された文字を読みながら解答いただきます。
7	配慮	全回で実施可	音（音声）の聞き取り方法に配慮が必要な場合	音（音声）の聞き取りに補聴器やヘッドホンを使用	
きつ音・発話障がい関係					
8	免除	全回で実施可	話すことが困難な場合	スピーキングの免除※2	
9	配慮	第1回、第2回のみ実施可	話し出すこと、話すことに時間を要する場合	スピーキングの時間延長（解答時間を約3倍に延長）	時間管理用の資材を提供します。
10	配慮	全回で実施可	話し方に特徴がある場合	採点者への情報連携	採点者に事前に情報を連携し、注意して音（音声）を聞き取ります。なお、採点基準の観点や段階の変更は行いません 。
上肢不自由					
11	配慮	全回で実施可	上肢不自由の症状があり、英文を記述することに時間を要する場合	解答方法の変更※1／ライティングの時間延長あり（解答時間を約1.5倍に延長）	時間管理用の資材を提供します。
12	配慮	全回で実施可	上肢不自由の症状がある場合	解答方法の変更※1／ライティングの時間延長なし	
発達障がい					
13	配慮	全回で実施可	発達障がいの症状がある場合	解答方法の変更※1	

※1「解答方法の変更」:点字で解答いただいたり、問題冊子へチェックを入れて解答いただいたり、マークシートを受検者の状況に合わせて拡大して解答をご記入いただいたりすることが可能です。この場合、先生に通常のマークシートへ代筆をしていただきます。

※2「免除」:オフィシャルスコア証明書の免除技能とトータルのスコア欄とCEFRレベル欄には「*」が表示され、オフィシャルスコア証明書内に『「*」印は、その技能の受検が免除された場合に表示されています。』の注釈が付きます。

MEMO

5 アセスメント版の商品概要

商品概要

技能数	3技能(リーディング・リスニング・ライティング)	4技能
受検日	春夏回:4月1日(木)～9月30日(木) 秋冬回:10月1日(金)～3月31日(木)	
問題回	春夏回: 47回 秋冬回:Advanced 49回 Basic 48回 Core 49回	
受検可能な問題タイプ	Advanced/Basic/Core	
会場・試験監督	学校会場・先生監督	
申込受付開始日時	2021年3月1日(月)AM8:00頃、お申込WEBページオープン予定	
申込締切日	実施日の15日前まで ※タブレットの台数に限りがあるため、お早めにお申込ください。	
特別な配慮申請締切日	実施日の15日前まで	
追加実施	可	可 ※タブレットの再送が必要な場合は、タブレットの台数に限りがあるため、実施希望日に添えない場合があります。
タブレット送付台数	–	上限50台 ※予備のタブレットは2台
スキルUPワーク	春夏回:Ver.05 秋冬回:Ver.06	
スキルUPワーク発送日	3技能試験資材と同送 ※お届け希望日がある場合は、ご連絡ください。	
成績返却物	生徒向け:生徒用帳票 先生向け:教師用帳票	
結果発送予定日 FINE SYSTEM搭載日	マークシート弊社到着後 約1.5か月～2か月後 注	マークシートおよびタブレット両方が弊社到着後 約1.5か月～2か月後 注
請求額	3,380円(税込)	5,300円(税込)
標準受検料	3,580円(税込)	5,700円(税込)

注 年末年始の関係上、12月受付分においては、結果返却まで3か月程度を要する場合があります。

出題時間の目安

※実施回によって、出題時間は若干前後します。※出題時間には、資材の配付・準備の時間は含みません。スピーキングは、試験開始前に別途準備時間が必要となります。

問題タイプ	リーディング	リスニング	ライティング	スピーキング
Advanced Basic	約45分	約25分	約25分	約15分
Core	約32分	約20分	約25分	約15分

■標準は4技能でのご提供ですが、スピーキングを除く3技能での実施も可能です。
■スピーキング単体の提供はありません。
■通年でAdvanced・Basic・Coreタイプをご受検いただけます。
■アセスメント版は春夏回・秋冬回の2回のご提供をしており、アセスメント版での受検は年2回まで可能です。
■秋冬回のAdvanced・Coreタイプは第2回検定、Basicタイプは第1回検定の問題内容と同一です。
■同一問題回のAdvancedタイプとBasicタイプのスピーキング問題内容は同じです。

お届け資材

試験資材	
3技能用資材	スピーキング用資材
☐ 納品書・請求書・手引き等の入った封筒 ☐ ビニール袋・荷造り用ひも ☐ 試験監督先生用マニュアル ☐ 受検の前に読むしおり ☐ 事前演習セット ☐ 問題冊子（2種類） ☐ 実施用CD（2枚組） ☐ タブレット管理カード・マークシート解答用紙保管用封筒 ☐ タブレット管理カード・マークシート解答用紙セット ☐ 付属学習教材（スキルUPワーク） ☐ 付属学習教材（スキルUPワーク）CD　※先生用に2枚 ☐ 3技能解答・解説集	☐ 納品書・受検者集計表・手引き等の入った封筒 ☐ ビニール袋・荷造り用ガムテープ ☐ 先生用タブレット ☐ 生徒用タブレット ☐ 充電器 ☐ ヘッドセット ☐ ヘッドセットカバー ☐ ヘッドセットカバー・除菌シート回収用ビニール袋 ☐ テスト版識別コードのお知らせレター ☐ スピーキング解答・解説集 ☐ 除菌シート

■スピーキングで使用するタブレットは、最大50台+予備2台をお届けします。

■充電器は、お申込につき5台をお届けします。

欠席者への対応

■3技能は、マークシートを他の受検者分と一緒に返送いただけない場合、後日追加でマークシートをご返送ください。「GTEC」お問い合わせ窓口まで、追加回収のご連絡をお願いします。

■スピーキングは、実施期間中で実施ができない場合は、タブレットは一度すべて回収し、後日上限5台+予備1台をお送りします（対象人数が多い場合は、ご相談ください）。「GTEC」お問い合わせ窓口までご連絡をお願いします。タブレットの在庫状況により、ご希望日に添えない場合がありますので、ご了承ください。

4技能実施パターン

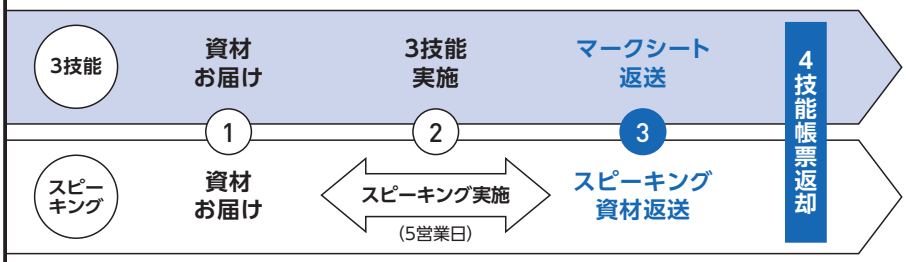
■どの実施パターンでも、スピーキングのタブレットの貸出期間は、5営業日以内となります。

■スピーキングのタブレットは、スピーキングの実施期間最終日の翌営業日に回収にうかがいます。

■公欠等で実施期間内に受検できなかった場合、4技能として後日の追加受検が可能です（タブレットの台数に限りがあるため、実施希望日に添えない場合があります）。

4技能同時期受検（推奨）

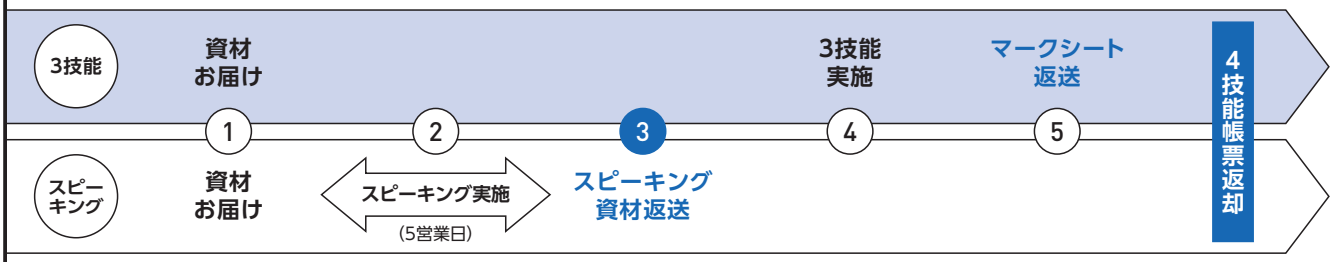
●3技能の実施とスピーキングの実施が5営業日以内の場合



①3技能資材は、実施日の1～3週間前を目安にお届けします。スピーキング資材は、実施日の3営業日前までにお届けします。
②スピーキング実施予定の5営業日期間中に3技能を実施いただきます。
③マークシートとスピーキング資材を同時に回収させていただきます。

スピーキング先行の場合

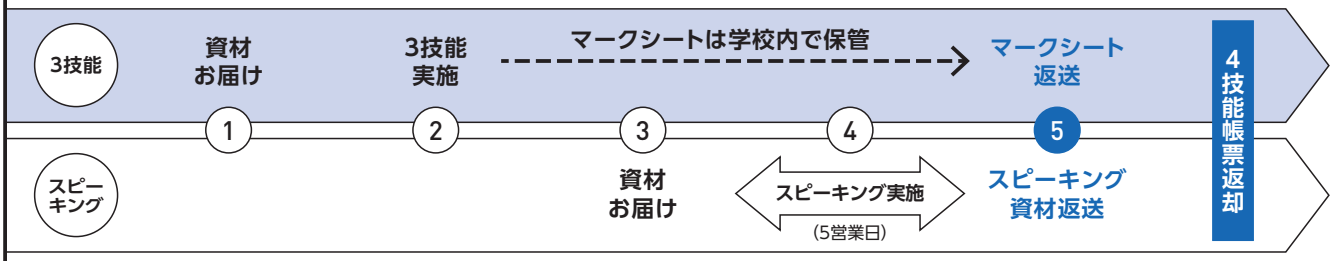
●スピーキングを先に実施し、後で3技能を実施する場合



①3技能資材は、実施日の1～3週間前を目安にお届けします。スピーキング資材は、実施日の3営業日前までにお届けします。
②スピーキングは5営業日期間中に実施いただきます。
③スピーキングの実施期間最終日の翌営業日に、スピーキング資材のみ先に回収させていただきます。
④3技能はスピーキング資材返送後、ご希望の日程にて実施いただきます。
⑤3技能受検後にあらためて、マークシートを回収させていただきます。弊社にスピーキングと3技能答案の両方が届いた段階で採点を開始いたします。

3技能先行実施の場合

●3技能を先に実施し、後でスピーキングを実施する場合



①3技能資材を先にお届けします（実施日の1～3週間前を目安にお届け）。
②3技能を先行して実施いただきます。
③スピーキング資材は、実施日の3営業日前までにお届けします。
④スピーキングは、5営業日で実施いただきます。
⑤マークシートとスピーキング資材を同時に、スピーキング実施期間最終日の翌営業日に回収させていただきます（それまでマークシートは学校内で保管ください）。

成績返却スケジュール

■成績結果資料は、マークシート・タブレット弊社到着後、約1.5〜2か月後に学校へお届けします。
※年末年始の関係上、12月受付分においては、結果返却まで3か月程度を要する場合があります。
■正しく受検・返送いただけていない場合は、上記の結果発送予定日より発送が遅くなる場合があります。

成績返却物

生徒向け返却物

CEFR-J

- 個人成績
- 技能別、トータルの「GTEC」スコア、CEFR-Jレベル

生徒用帳票
(SCORE REPORT)

先生向け返却物

CEFR-J

- 学年の概況
- 学年の各技能成績
- クラス別成績
- 生徒ピックアップ
- 個人成績一覧

教師用帳票

インターネットフォルダ
掲載データ

CEFR-J

- 個人成績一覧(CSV)
- クラス別設問別正解率一覧(CSV)
- 受検者全員のライティング答案(PDF)
- スピーキングPart CとPart Dの成績上位・中位者の音声データ(各2名分)
- 教師用帳票(PDF)

※「インターネットフォルダ」のご利用には先生個人ID・パスワードが必要となります。

■帳票の再発行をご希望される場合は「GTEC」お問い合わせ窓口までご連絡ください。
※お届けに2〜3週間かかります。
※生徒用帳票の再発行は、前年度分までに限ります。

お支払い

■試験資材の封筒に同封の郵便振替用紙(手数料弊社負担)に、必要事項を記入のうえ、原則、申込人数分をお支払いください。試験資材のお届け時以外に請求書を発行している場合も同様です。
※請求書は、Benesse High School Onlineよりダウンロードすることが可能です。
■やむをえない事情により申込人数が変更になった場合は、変更数欄に人数を記入し、お支払いください。

特別な配慮事項

■特別な配慮を希望する場合は、配慮申請締切日までに申請が必要です。申請方法の詳細は、Benesse High School Online上の「特別な配慮の申請の手引き」をご覧ください。締切日以降の申請は、お受けできません。

■配慮内容の詳細については、Benesse High School Online上の「特別な配慮について(配慮事項一覧)」をご覧ください。

	非受検/配慮	対応回	申請の目安	配慮事項	補足
視覚関係					
1	配慮	春夏／秋冬 (春夏回と秋冬回で同一の問題版となります)	点字による学習を受けている場合	点字資材による受検[時間延長あり(技能ごとに、解答時間を約1.5倍～3倍に延長)] ／解答方法の変更※	2021年度の春夏回、秋冬回とは異なる問題版となります。成績データについても、春夏回、秋冬回とは別集計となります。時間管理用の資材を提供します。
2	配慮	春夏／秋冬	弱視などの場合	拡大冊子による受検／解答方法の変更※／実施時間の延長は状況に応じて可	読むことに時間がかかる場合、リーディングの実施時間を、1.5倍以内を目安に延長が可能です。その場合、先生に時間の測定をしていただきます。
3	配慮	春夏／秋冬	色弱などの場合	白黒問題冊子での解答	スピーキングについて、白黒問題冊子を利用しながら、タブレットに音声を録音いただきます。
聴覚関係					
4	非受検 配慮	春夏／秋冬	音(音声)の聞き取りが困難(両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上が目安)で、話すことも困難な場合	スピーキングの非受検／リスニングのスクリプトによる解答(読んで解答)	
5	配慮	春夏／秋冬	音(音声)の聞き取りが困難(両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上が目安)だが、話すことには問題がない場合	スピーキングを音(音声)聞き取り以外の方法で実施／リスニングのスクリプトによる解答(読んで解答)	スピーキングについて、音(音声)のみで流れる英文を文字化した問題カードとスピーキング用タブレットに表示された文字を読みながら解答いただきます。
6	配慮	春夏／秋冬	音(音声)の聞き取り方法に配慮が必要な場合	音(音声)の聞き取りに補聴器やヘッドホンを使用	
きつ音・発話障がい関係					
7	非受検	春夏／秋冬	話すことが困難な場合	スピーキングの非受検	
8	配慮	春夏／秋冬	話し方に特徴がある場合	採点者への情報連携	採点者に事前に情報を連携し、注意して音(音声)を聞き取ります。なお、採点基準の観点や段階の変更は行いません 。
上肢不自由					
9	配慮	春夏／秋冬	上肢不自由の症状がある場合	解答方法の変更※／実施時間の延長は状況に応じて可	ライティングの実施時間については、1.5倍以内を目安に延長が可能です。その場合、先生に時間の測定をしていただきます。
発達障がい					
10	配慮	春夏／秋冬	発達障がいの症状がある場合	解答方法の変更※	

※「解答方法の変更」:点字で解答いただいたり、問題冊子へチェックを入れて解答いただいたり、マークシートを受検者の状況に合わせて拡大して解答をご記入いただいたりすることが可能です。この場合、先生に通常のマークシートへ代筆をしていただきます。

MEMO

6 大学入試における「GTEC」スコアの活用

大学への提供方法

■スコアの提出方法は、各大学の募集要項を確認のうえ、大学の指示にしたがってください。

■弊社ホームページにて、各大学のスコア活用状況をご紹介しております。

URL https://sc.benesse-gtec.com/list/ ※随時更新

■入試活用等の理由で、帳票の再発行をご希望される場合は「GTEC」お問い合わせ窓口までご連絡ください。
※お届けに2～3週間かかります。
※オフィシャルスコア証明書の再発行は、有効期限内（検定日から2年間）のものに限ります。
※生徒用帳票の再発行は、前年度分までに限ります。

■出願時に「GTEC」の“成績番号”の提出を求められた場合、次の手順で生徒自身によるお手続きが必要です。
※“成績番号”とは、大学が、弊社提供のシステムを利用し、出願者の「GTEC」のスコアを照会するための番号です。

IDを確認

……オフィシャルスコア証明書表面に印字された、SASSIで始まる15桁のログインIDを準備する。

専用ページへアクセス

……「大学入試成績連携システム」ログインページ

URL https://benesse-exam.benesse.ne.jp/exam/login

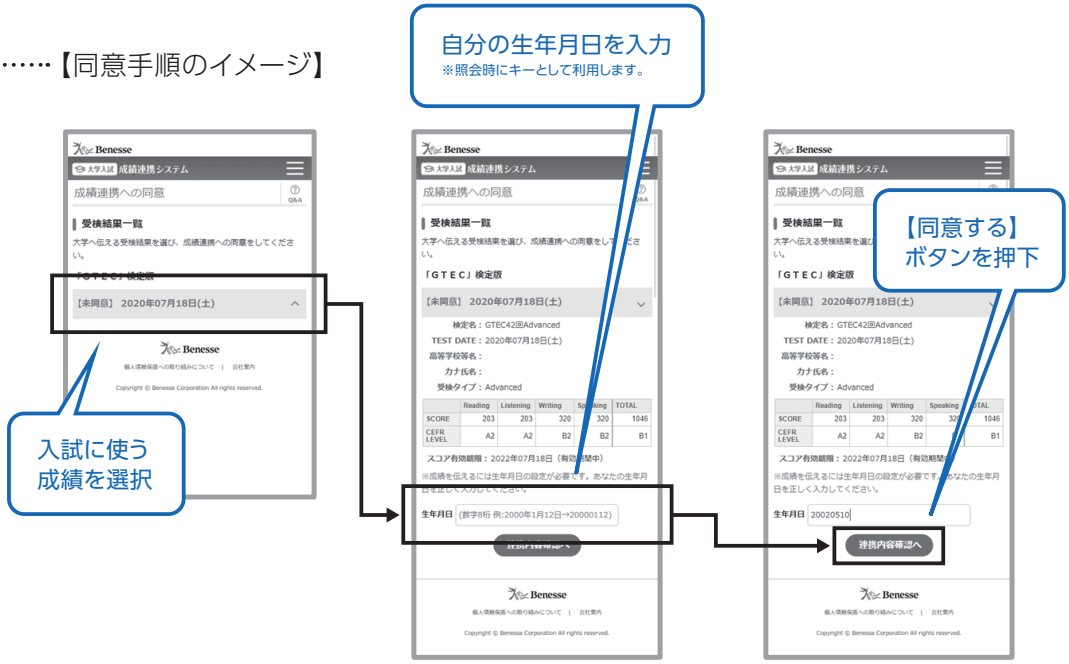
※「マナビジョン」からも手続きが可能です。

URL http://manavision.jp

⇒ ホーム画面で【成績連携システム】ボタンを押下

成績連携への同意

……【同意手順のイメージ】



成績番号を提出

……同意が完了すると、画面上に“成績番号”が表示されます。
募集要項等での大学からの指示にしたがい、“成績番号”を提出してください。

生徒用問い合わせ窓口 0120-600140 通話料無料 月曜～金曜 9:00～18:00（祝日、年末・年始を除く）

調査書・指導要録への記載方法

■「GTEC」スコアを調査書・指導要録へ記載する場合、以下を参考にしてください。

■あくまでガイドラインですので、各大学から個別の指示がある場合は、そちらにしたがってください。

■オフィシャルスコアの有効期限は、オフィシャルスコア証明書に印字されている「Test Date（Year/Month/Day）」から2年後の同日までとなります。

区分	ケース	記載内容
検定版	2021年度6月に「GTEC」検定を4技能で受検しスコア700を取得した場合	GTEC 2021年度6月検定（4技能）700
アセスメント版	2021年度7月に「GTEC」アセスメントを3技能で受検しスコア500を取得した場合	GTEC 2021年度7月アセスメント（3技能）500
	2020年度1月に「GTEC」アセスメントを4技能で受検し、スコア700を取得した場合	GTEC 2020年度1月アセスメント（4技能）700
	2020年度6月に「GTEC」アセスメントを4技能で受検したが、スピーキング実施が7月だった場合 →実施月は3技能の実施月を記載	GTEC 2020年度6月アセスメント（4技能）700

■一部技能の免除を申請した場合は、トータルスコアが返却されていませんので、下記のように各技能スコアを記載し、免除された旨を注記してください。

●検定名称「GTEC」

●20XX年度★月検定（4技能）リーディング__、リスニング__、ライティング__、スピーキング__

★:受検月を記入、__:スコアを記載（免除技能は＊を記載）

●『「＊」印の技能は受検が免除されています。』

「＊」印は「※」で代用可とします。

記載例：2021年度6月に「GTEC」検定版でリスニング受検の免除を申請した場合

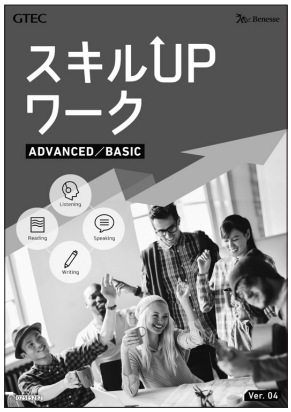
GTEC 2021年度6月検定（4技能）リーディング210　リスニング＊　ライティング190　スピーキング200

「＊」印の技能は受検が免除されています。

7 付属学習教材「スキルUPワーク」・事前演習セット

スキルUPワーク

■CEFR-Jレベル別に4技能を学習することができます。
■スキルUPワークは、年間2版をご用意しております。受検回に応じて下記の版をご提供します。※Advanced・Basicタイプは同一のものをご提供します。
■アセスメント受検におけるスキルUPワークの事前お届けにおきまして、春夏回は**3月11日**、秋冬回は**9月1日**から発送可能です。
■検定版では一律のお届けとなります。お届け日の指定はできません。



Ver.05	【検定版】第1回・第2回
	【アセスメント版】春夏回
Ver.06	【検定版】第3回
	【アセスメント版】秋冬回

■基本的な英語スキルを伸ばす「スキルトレーニング」、「GTEC」同様の問題形式で演習ができる「スキルプラクティス」の2種類のワークに取り組むことができます。
※冊子内の音声・その他コンテンツはWEBサイト上でのご提供となり、生徒用CDのご提供はございません（先生用にCDを2部お送りいたします）。

冊子+WEBサイト上の音声を再生しながら取り組んでいただく技能

読む問題 Reading　聞く問題 Listening　書く問題 Writing

WEBサイト上のみで取り組んでいただく技能

話す問題 Speaking

ライティングの事後学習WEBサービスについて

■上記のワークに加え、「GTEC」の帳票返却タイミングに、ライティングの答案作成のポイントをまとめた学習ページもございます。動画解説を見てポイントを理解し、実際にWEBに入力しながら答案作成のプロセスを学ぶことができます。

■CEFR-J別のスモールステップ学習で無理なくスキルアップ
ー自分のレベルに合わせて学習できます。
ーEメール問題・意見展開問題ともに解答を作る思考プロセスを分解してわかりやすく解説します。

■解答の作り方を学ぶ自学自習のサイクルをサポート
ー学習者のつまずき箇所を中心に解説した動画解説
ーワークで実際に解答プロセスを体感
ー新問題に挑戦して、学習した内容の定着をチェック

■AI添削機能を搭載
ー自分では気づきにくい解答のケアレスミスの指摘を自動で行い、より正確に書く力を伸ばすサポートをします。

■PDFを印刷することでスマホ、PC以外でも学習可能
ーワークと新問題部分のプリントをダウンロードできるため、インターネット環境がなくても学習に取り組めます。
※インターネットからPDFファイルをダウンロードしての利用となります。

推奨環境

※2021年1月現在
最新の動作保証機種については、WEBサイトをご覧ください。

PC	Windows 8.1 Windows 10 macOS 10.15	Google Chrome最新版 Google Chrome最新版　Microsoft Edge最新版 Safari最新版　Google Chrome最新版
スマートフォン・タブレット	Android 7.1, 8.1, 9.0, 10.0 iOS 13, 14 iPadOS 13, 14	Google Chrome最新版 Safari最新版 Safari最新版

※特に記載がないブラウザはすべて動作確認対象外です（すべての機種で動作確認したものではありません）。
※ご利用にはインターネット環境が必要です。実効速度10Mbps以上を推奨しております。

事前演習セット

「GTEC」受検を英語スキル育成の機会としてご活用ください。

事前演習セットは、初めて受検する生徒が、「GTEC」独特の出題形式に慣れることができる、一斉ご指導用の教材です。

※「事前演習セット」は先生方に原本をご提供します。必要に応じてコピーしてご活用ください。
※「事前演習セット」は毎回同じ紙面内容になります。ご受検が2回目以降の場合でも同じものになりますので、あらかじめご了承ください。

内容物	●トライアルテスト問題冊子、CD ●「情報検索」問題集 ●「自分の意見を伝える」演習冊子

アイテム紹介

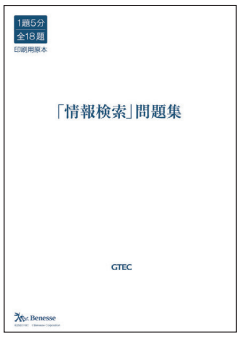
受検前の1コマなどで

トライアルテスト

(リーディング、リスニング、ライティング)

「GTEC」と同様の出題形式の練習問題です。出題数を実際のテストより少なくしており、40分でご実施いただけます。
問題タイプ別にご用意しています。

ご活用事例　初めて「GTEC」を受検する前に、授業時間で40分間のトライアルテストに取り組ませている。出題内容に慣れさせ、本番で実力を発揮できるように用意をさせている。

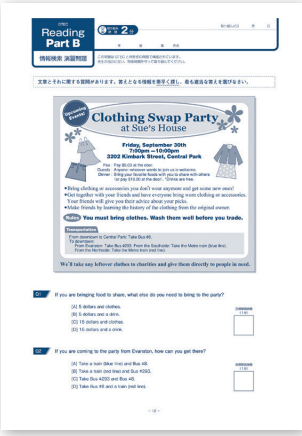


朝学習の時間などに活用

「情報検索」問題集

「GTEC」リーディング・パートBの出題形式に対応した情報検索型の問題集です。解答2分、答え合わせ3分で、1題につき5分程度で取り組んでいただけます。

広告の読み取りなど、短時間で必要な情報を引き出す力を測る情報検索型の問題を演習できます。



ご活用事例　「情報検索」問題集の素材を「GTEC」受検の何週間か前から「GTEC」ウィークとして課題として出している。情報検索型問題の力をつけながら、受検に向けた意識を高めさせている。

授業冒頭15分などで

「自分の意見を伝える」演習冊子

「GTEC」のスピーキング・ライティングに対応する力をつけるための演習冊子です。自由英作文を書くための段階的な演習を行うことができます。全5レベル、1レベル15分程度でご実施いただけます。

一文を書くレベルから客観的で説得力のある英文を書くレベルまで段階を追って演習することができます。

ご活用事例　「自分の意見を伝える」演習冊子で自由英作文の書き方を指導している。英語で書き表すということだけではなく、自分の言いたいことを伝える力を養うことの大切さを生徒に伝えることができている。

※掲載内容はイメージです。

検定版のお申込

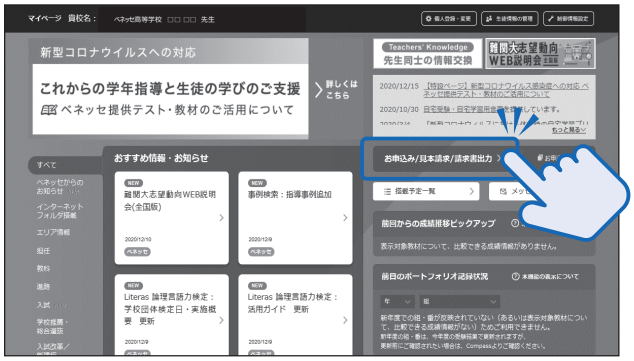
■お申込前に、受検規約(P.29)を必ずご一読いただきますようお願いいたします。
■WEB上で、「GTEC」検定受検規約に同意のうえご署名をいただきます。
■WEB上で、学校長の受検規約への同意を確認する項目がございます。あらかじめご確認、ご同意いただいたうえでお申込ください。
■WEB上で、特別な配慮の申請予定有無を確認する項目がございます。あらかじめご確認いただいたうえでお申込ください。
■お申込締切後の「新規のお申込」「お申込のキャンセル」「受検人数の変更」「問題タイプの変更」「学年・コースなどの変更」「資材部数の変更」は承ることができません。お申込前に、「受検タイプ」「受検学年」「受検コース」「受検人数」が正しいか必ずご確認ください。
■お申込人数を超えての受検や、お申込をしていない学年・コースでの受検はできません。
■状況により、WEB上でお申込いただけない場合がございます。その場合は、お手数をおかけいたしますが「GTEC」お問い合わせ窓口にご連絡ください。
■お申込締切前でも、WEB上での変更ができない期間がございます。その場合は、お手数をおかけいたしますが「GTEC」お問い合わせ窓口にご連絡ください。

STEP 1 インターネットのブラウザから、「Benesse High School Online」へアクセスします。

URL https://bhso.benesse.ne.jp　ハイスクールオンライン　検索

※ご利用には、学校のID・ログインコード、または先生個人のID・パスワードが必要です。

STEP 2 TOPページより、申込画面へ入ります。



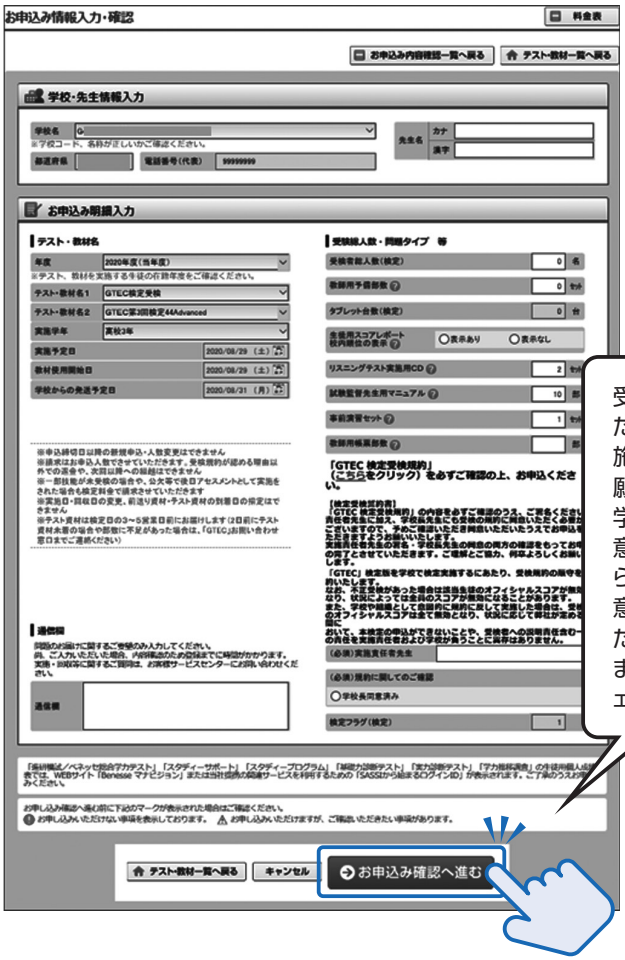
STEP 3 「GTEC検定」をクリックします。

補足情報
お申込状況を確認したい場合は、「お申込み内容を確認する」を押下すると、見ることができます。

STEP 4 「新規申込」をクリックします。

※いくつか確認事項が出てくることがありますので、ご確認ください。

STEP 5 必要事項を入力して、「お申込み確認へ進む」をクリックします。



受検規約を必ずご一読いただき、【検定受検誓約書】へ実施責任者先生のご署名をお願いいたします。
学校長先生の受検規約の同意も必要となりますので、あらかじめご確認いただき、同意いただいたうえでお申込くださいますようお願いいたします（「学校長同意済み」にチェックを入れてください）。

※いくつか確認事項が出てくることがありますので、ご確認ください。

STEP 6 申込内容を確認し、間違いなければ、「決定する」をクリックし、申込を完了します。修正が必要な場合は、「やり直す」をクリックし、修正を行ってください。

アセスメント版のお申込

■4技能をお申込の際、WEB上のお申込画面からタブレットの空き状況を照会いただき、選択可能な5営業日以内をスピーキングの実施日程としてお申込ください。

■スピーキングの実施日は、お申込先着順となります。

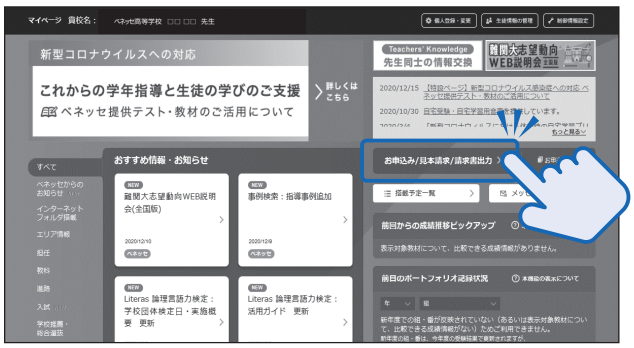
■状況により、WEB上でお申込いただけない場合がございます。その場合は、お手数をおかけいたしますが「GTEC」お問い合わせ窓口にご連絡ください。

STEP 1 インターネットのブラウザから、「Benesse High School Online」へアクセスします。

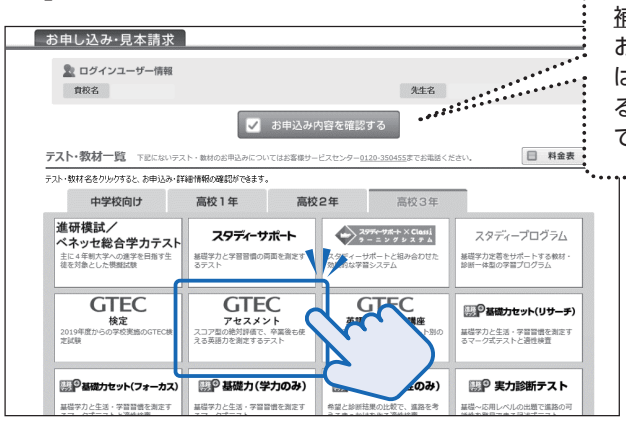
URL https://bhso.benesse.ne.jp　ハイスクールオンライン　検索

※ご利用には、学校のID・ログインコード、または先生個人のID・パスワードが必要です。

STEP 2 TOPページより、申込画面へ入ります。



STEP 3 「GTECアセスメント」をクリックします。



補足情報
お申込状況を確認したい場合は、「お申込み内容を確認する」を押下すると、見ることができます。

STEP 4 「新規申込」をクリックします。

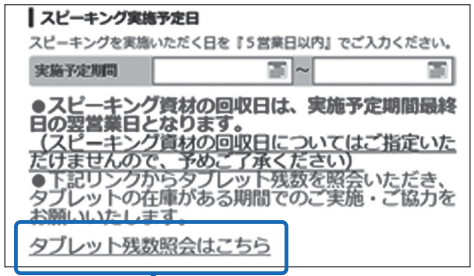
※いくつか確認事項が出てくることがありますので、ご確認ください。

STEP 5

必要事項を入力して、「お申込み確認へ進む」をクリックします。

4技能お申込の場合

4技能の人数を入力後、下記の「タブレット残数照会画面」が表示されます。タブレット在庫がある期間（5営業日以内）でお申込ください。



【タブレット残数照会画面】

※いくつか確認事項が出てくることがありますので、ご確認ください。

STEP 6

申込内容を確認し、間違いなければ、「決定する」をクリックし、申込を完了します。
修正が必要な場合は、「やり直す」をクリックし、修正を行ってください。

「GTEC」検定受検規約

本規約は、株式会社ベネッセコーポレーション(以下「弊社」)が「GTEC」検定(以下「本検定」)を実施するにあたり、学校(以下「学校」)に厳正な実施を行っていただくために、定めたものです。

第1条(申込について)

1. 学校は、本規約を読み、学校長および実施責任者が署名をしたうえで申込を行い、規約内容を遵守しなければなりません。
2. 学校は、受検者人数や問題タイプ等を正確に把握して、Benesse High School Online上の申込WEB画面に必要な事項を漏れなく入力しなければなりません。
3. 本検定に関する契約は、学校が本検定の申込を行った時点で成立するものとします。
4. 学校は、弊社より「問題お届け部数のご案内FAX」が届き次第、ただちに申込内容と相違がないか確認し、何かあれば速やかに弊社へ連絡しなければなりません。
5. 学校は、申込締切日を過ぎての「新規のお申込」「受検者人数の変更」「問題タイプの変更」「学年・コースなどの変更」は一切できません。
6. 学校は、弊社より請求書が到着次第、速やかに検定受検料の入金手続きをしなければなりません。
7. 請求は、当日の受検者人数に関わらず、申込時の受検者人数から、以下の人数を差し引いた数で行います。この他の理由により欠席した人数は、請求から差し引かれません。
   ただし、以下の理由のために欠席した受検者も、実施日を改めてアセスメントとして受検でき、その場合は元の請求人数に含めることとします。
   ①受検予定者のうち、忌引きや法事のために受検しなかった人数(親等、日数の適用範囲は、学校の定める基準に準ずる)
   ②受検予定者のうち、公式大会への出場のために受検しなかった人数(大会主催者が、国、地方団体、および全国的に組織された団体で、かつ該当者が大会申込団体の代表選手としてその大会に出場する場合)または学校が公欠と認める課外活動により受検しなかった人数
   ③受検予定者のうち、進級・進学・就職要件となる実習や試験などのために受検しなかった人数(その試験・授業・実習に参加しなければ、進級・進学・就職できない場合)
   ④受検予定者のうち、学校保健安全法施行規則に定められている感染症により受検しなかった人数
   ⑤受検予定者のうち、公共交通機関の途絶や遅延により受検しなかった人数
   ⑥受検予定者のうち、疾病その他の理由による長期欠席により受検しなかった人数
   ⑦受検予定者のうち、受検申込後の転校・退学・謹慎・留学により受検しなかった人数
   ⑧受検予定者のうち、天災や事故・事件により受検しなかった人数
8. 学校は、実施しない技能がある場合であっても、4技能分の検定受検料を支払わなければなりません。
9. 学校は、障がい等のある受検者への特別な配慮を希望する場合、Benesse High School Online上に掲載する弊社指定の方法で事前に申請しなければなりません。

第2条(試験資材のお届け・保管および事前の準備について)

1. 試験資材は全国一律、検定日3〜5営業日前の到着となり、スピーキング試験資材とその他技能の試験資材のお届け日が異なる場合があります。
2. 試験資材のお届け日指定はできません。
3. 「受検の前に読むしおり」「スキル UP ワーク」「事前演習セット」は、本検定実施前の弊社が定める時期に到着となり、お届け日指定はできません。
4. 学校は、試験資材が到着したら、不足物がないかを点検し、検定日まで「問題冊子」「実施用CD」「生徒用タブレット」は使用せず、鍵のかかった場所で厳重に保管するものとします。ただし、事前の実施機器の確認においては、問題冊子①のCD(リーディング実施用CD)を使用してよいものとします。
5. 学校は、本検定実施前に「受検の前に読むしおり」を受検者へ配付し、本検定実施日時や概要などを説明・周知するものとします。
6. 「問題冊子」は、本検定開始時間まで開いてはなりません。
7. リーディング・リスニング・ライティングのテストは、「実施用CD」で進行・解答時間管理を行うため、学校は、CDを再生できる音声機器をあらかじめ準備するものとします。
8. 学校は、音声機器のチェックを事前に実施する際は、必ず問題冊子①のCD(リーディング実施用CD)を使用し、問題冊子②のCD(リスニング・ライティング実施用CD)は、本検定開始時間まで再生してはなりません。

第3条(実施について)

1. 実施日の変更は一切できません。
2. タブレットの提供は受検者人数の半数となるため、学校は、受検者をスピーキング試験前半受検グループとスピーキング試験後半受検グループに分けて、タブレットを順に使用させるものとします。
3. 学校は、スピーキング試験中に、受検者がイヤーマフを不必要に外したり、過度に触ったりしないように指導・監督しなければなりません。
4. 学校は、弊社が指定した時間割で、全受検者同時に本検定を実施するものとします。
5. 学校は、スピーキング試験実施時、タブレットを異なる申込コード間(学年やコースなど)で混在して使用してはなりません。
6. 試験当日は、学校を会場とし、学校は、本検定実施教室として、スピーキング試験を前半と後半のグループに分けて実施するのに必要な教室数をあらかじめ確保するものとします。
7. 試験教室内における、不正行為につながる掲示物や机の落書き等は、事前に撤去または除去しなければなりません。
8. 本検定実施中、故意にスピーキング実施機器(タブレット・イヤーマフ・イヤホン)を損壊した場合は、その修理または再購入に要した実費を学校に請求します。

9. 学校は、実施責任者および監督者に、必ず「先生用タブレット」を使用させ、「生徒用タブレット」を試し利用させてはなりません。
10. 学校は、本検定実施中に天災など非常事態が発生した場合、受検者の安全確保を行うものとします。

第4条（厳正化について）

1. 学校は、実施責任者をして、本規約および「とりまとめ先生用実施の手引き」「試験監督先生用マニュアル」に記載のとおり、本検定の厳正な実施を担保しなければなりません。監督者に対しても、「試験監督先生用マニュアル」を事前に配付・記載事項を説明し、遵守事項を徹底しなければなりません。
2. 学校は、各教室に最低1名は監督者を配置し、本検定実施中常駐のうえ、本条第3項を遵守しなければなりません。
3. 学校は、監督者をして、以下の受検者の不正行為等に対する監督業務を適正に行わなければなりません。
   ①本検定開始前に、配付された問題冊子を開いて閲覧しようとする行為。
   ②本検定実施中に物音を立てる、声を出す、故意に周囲を笑わせるなど、他の受検者の受検を妨害する行為。
   ③本検定実施中の携帯電話、スマートフォン、パソコン、電子辞書等の通信機器や電子機器、ウェアラブル端末・スマートウォッチなどの機器類の使用。
   ④本検定実施中の参考書・問題集・電子辞書などの資料の閲覧。
   ⑤本検定実施中に受検者が持参した荷物に手を触れる行為。
   ⑥カンニング行為など、実施責任者または監督者が不正と認めた行為。
   ⑦学年・名前などを偽って受検する行為。
   ⑧本人写真撮影の手順に従わず、不正な写真を撮影・提出する行為。
   ⑨本検定の問題を不正に開示・漏洩する行為、また不正な開示・漏洩を受けて受検する行為。
   ⑩本検定の問題を撮影するなどして複製・複写する行為。
   ⑪スピーキング試験実施中にメモをとる行為。
   ⑫その他、実施責任者および監督者の指示に従わず、本検定の進行を妨げ、他の受検者に迷惑をかける行為、受検者としてふさわしくない行為。
4. 学校は、本条第3項に該当する不正行為を発見した場合、監督者をして、ただちに該当者の受検を中止させなければなりません。その受検者の受検は無効となり、弊社は検定受検料を返金しません。
5. 厳正な本検定の実施を確認するため、弊社は、本検定実施状況の記録・報告を依頼する場合があります。また、本検定当日に弊社担当者が実施会場へ訪問・立ち会いをする場合があります。学校は、正当な理由がない限り、これらを拒否することはできません。

第5条（実施後について）

1. 学校は、「問題冊子」を2冊ともに回収用封筒で回収のうえ、厳重に管理するものとし、後日届く解答・解説集と一緒に受検者へ再配付しなければなりません。
2. 学校は、監督者をして、本検定終了後、マークシートに必要事項のマーク漏れ・記入漏れがないか、また回収後は回収漏れがないかを確認するものとします。
3. 学校は、実施責任者をして、「とりまとめ先生用手引き」に従い、マークシートやスピーキング実施機器等の返送の準備を正しく行うものとします。異なるコード間（学年やコースなど）で、資材を混在して返送してはなりません。
4. マークシートやスピーキング実施機器等の学校からの返送日は、検定日の翌営業日とし、学校による指定・変更は一切できません。ただし、休校等でどうしても難しい場合は、「マークシート等返送遅延理由申告書」の提出を条件に返送日変更を認める場合があります。
5. スピーキング試験実施中にタブレットの不具合や、トラブルが発生した場合は、「受検者集計表」に該当受検者の情報や受検状況の詳細を記載するものとします。
6. 成績帳票の再発行は、対応可能期間であれば学校からの要望に基づき弊社で承ります。ただし、再発行には2～3週間かかります。弊社は受検者本人や保護者からの要望には対応しません。
7. オフィシャルスコア証明書に印刷された顔写真は、スコアが受検者本人のものであるという証明であり、実施後に変更することはできません。
8. 受検者本人や保護者から成績データについて問い合わせがあった場合、弊社は対応しません。
9. 大学から弊社に、本検定の結果について照会があった場合、弊社は、受検者の成績連携への同意を確認できたものに限り、受検結果を連携します。学校は、成績連携への同意手続きについて、弊社が提供する告知物やWEBサイト等の案内により受検者自身が行うよう、指導・助言しなければなりません。

第6条（個人情報について）

弊社における個人情報の取り扱いについては、「とりまとめ先生用実施の手引き」に定める通りとします。

第7条（受検の無効について）

1. 学校が以下項目のいずれかに該当した場合、本検定の受検をオフィシャルスコアを含め無効とし、弊社は学校に対し、検定受検料は返金しません。受検者への説明責任は学校が負うものとし、弊社は学校および受検者に対し一切の責任を負わないものとします。

①弊社の承諾なく検定日以外で本検定を実施した場合。
②実施責任者および監督者が、本規約および「とりまとめ先生用実施の手引き」「試験監督先生用マニュアル」に従わず実施した場合。
③弊社が指定した時間割で全受検者同時に実施できず、それが故意または過失による場合。
④学校の都合により返送に不備があった場合。
⑤本検定終了後、受検者の解答内容に手を加えた場合。
⑥その他、本規約に違反した場合。

2. 本条第1項に該当し受検が無効と判断された場合、状況に応じて弊社が定める期間において、本検定のお申込を停止することがあります。

株式会社ベネッセコーポレーション

「GTEC」お問い合わせ窓口（先生用）

0120-077109 通話料無料

受付時間	月曜～金曜 9:00～18:00 土曜 9:00～17:00（日曜・祝日、年末・年始を除く） 検定日 8:00～17:00

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Advanced タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・写真など与えられた視覚的情報をもとに，状況や場面，事物を描写説明した単文を聞き分けることができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験 サンプル問題　聞くこと　Part A	聞くこと	英語コミュニケーション Ⅰ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。 義務教育範囲 １　目　標 （1）　聞くこと ア　はっきりと話されれば，日常的な話題について，必要な情報を聞き取ることができるようにする。
・事前予測ができる情報がない中で，不意の質問に対する適当な応答を素早く判断し処理することができる。	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験	聞くこと	英語コミュニケーション Ⅰ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。

・事前に与えられる視覚情報と音声情報から，その場で求められている課題（タスク）を解決することができる。	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験 サンプル問題　聞くこと　Part C	聞くこと	英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (1)　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ 1　目　標 (1)　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
・一定以上の長さの英文を聞き，事前に与えられる英語の質問に答えるため必要な情報を選択，適切な判断をすることができる。	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験	聞くこと	英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (1)　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (1)　聞くこと イ　社会的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を聞

			き取り，概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （1）　聞くこと イ　社会的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短文の文脈を理解するとともに，語彙選択上最も適切な表現を正確に判断することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定	【設問数】14 問 【出題形式】選択式	読むこと	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）　読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，書き手の

着度合いも測定			意図を把握することができるようにする。 義務教育範囲 1　目　標 (2)　読むこと イ　日常的な話題について，簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。
・与えられた英文の題材について，短時間で全体の概要を理解することができる。	【設問数】6 問 【出題形式】選択式 サンプル問題　読むこと　Part B-1（概要把握）	読むこと	英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (2) 読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ 1　目　標 (2) 読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
・与えられた英文の題材について，短時間で必要な情報を引き出すことができる。	【設問数】8 問 【出題形式】選択式 サンプル問題　読むこと　Part B-2（情報検索）	読むこと	英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (2) 読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握することができるようにする。

			英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （2）読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
・多めの英文について，趣旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し，必要な情報を読み取ることができる。	【設問数】15 問 【出題形式】選択式	読むこと	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （2）読むこと

			ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 (2) 読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・英文を読み上げる形式の出題で，状況や英文を理解した上で，正確な発音で音読することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】2 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	
・図示された情報を読み取り，それに関する質問を聞き取った上で，適切に応答することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】4 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 (3) 話すこと［やり取り］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。

			英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （3）話すこと［やり取り］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 論理・表現Ⅰ １　目　標 （1）　話すこと［やり取り］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合ったり，やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。 論理・表現Ⅱ １　目　標 （1）　話すこと［やり取り］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり，立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。

			義務教育範囲 1　目　標 (3) 話すこと［やり取り］ ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 義務教育範囲 1　目　標 (3) 話すこと［やり取り］ イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりすることができるようにする。
・日常的な出来事について，話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明することができる。	【設問数】1問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験 サンプル問題　話すこと　Part C	話すこと	英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (4) 話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ 1　目　標 (4) 話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報

			や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅰ １　目　標 （2）話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅱ １　目　標 （2）話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。
・身近で社会的なテーマに対して，自分の意見とその意見をサポートする理由を言うことができる。	【設問数】１問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （4）話すこと［発表］ イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

			英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （4）話すこと［発表］ イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅰ １　目　標 （2）　話すこと［発表］ イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅱ １　目　標 （2）話すこと［発表］ イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張などを論

			理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた E メールで問われる内容について，限られた時間の中で適切な回答を表現することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】1 問 【出題形式】記述式	書 く こ と	英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (5) 書くこと ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (5) 書くこと イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ 1　目　標 (5) 書くこと ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報

			や考え，気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅰ １　目　標 （3）書くこと ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅰ １　目　標 （3）書くこと イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅱ １　目　標 （3）　書くこと ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報

			や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 論理･表現Ⅱ １　目　標 （3）書くこと イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 義務教育範囲 １　目　標 （5）書くこと ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 義務教育範囲 １　目　標 （5）書くこと イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

・与えられた話題について，限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現することができる。	【設問数】1問 【出題形式】記述式 サンプル問題　書くこと　Part B	書 く こ と	英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (5) 書くこと イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ 1　目　標 (5) 書くこと イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅰ 1　目　標 (3) 書くこと イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

			論理･表現Ⅱ １　目　標 （3）書くこと イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Basic タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・写真など与えられた視覚的情報をもとに，状況や場面，事物を描写説明した単文を聞き分けることができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験 サンプル問題　聞くこと　Part A	聞くこと	英語コミュニケーション Ⅰ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。 義務教育範囲 １　目　標 （1）　聞くこと ア　はっきりと話されれば，日常的な話題について，必要な情報を聞き取ることができるようにする。
・事前予測ができる情報がない中で，不意の質問に対する適当な応答を素早く判断し処理することができる。	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験	聞くこと	英語コミュニケーション Ⅰ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。

・事前に与えられる視覚情報と音声情報から，その場で求められている課題（タスク）を解決することができる。	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験 サンプル問題　聞くこと　Part C	聞くこと	英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (1)　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ 1　目　標 (1)　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
・一定以上の長さの英文を聞き，事前に与えられる英語の質問に答えるため必要な情報を選択，適切な判断をすることができる。	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験	聞くこと	英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (1)　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (1)　聞くこと イ　社会的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を聞

			き取り，概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （1）　聞くこと イ　社会的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短文の文脈を理解するとともに，語彙選択上最も適切な表現を正確に判断することができる。	【設問数】14 問 【出題形式】選択式	読むこと	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）読むこと

※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定			ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握することができるようにする。 義務教育範囲 １　目　標 （2）読むこと イ　日常的な話題について，簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。
・与えられた英文の題材について，短時間で全体の概要を理解することができる。	【設問数】6 問 【出題形式】選択式 サンプル問題　読むこと　Part B（概要把握）	読むこと	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）　読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （2）　読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
・与えられた英文の題材について，短時間で必要な情報を引き出すことができる。	【設問数】8 問 【出題形式】選択式 サンプル問題　読むこと　Part B（情報検	読むこと	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）　読むこと

	索）		ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 (2)　読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
・多めの英文について，趣旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し，必要な情報を読み取ることができる。	【設問数】15 問 【出題形式】選択式	読むこと	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 (2)　読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 (2)　読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標

			(2)　読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ 1　目　標 (2)　読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・英文を読み上げる形式の出題で，状況や英文を理解した上で，正確な発音で音読することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】2 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	
・図示された情報を読み取り，それに関する質問を聞き取った上で，適切に応答することができる。 ※義務教育段階の学習内容の	【設問数】4 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (3)　話すこと［やり取り］

定着度合いも測定			ア　日常的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 (3)　話すこと［やり取り］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 論理・表現Ⅰ １　目　標 (1)　話すこと［やり取り］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合ったり，やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。 論理・表現Ⅱ １　目　標 (1)　話すこと［やり取り］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報

			や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり，立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。 義務教育範囲 1　目　標 (3)　話すこと［やり取り］ ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 義務教育範囲 1　目　標 (3)　話すこと［やり取り］ イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりすることができるようにする。
・日常的な出来事について，話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明することができる。	【設問数】1問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験 サンプル問題　話すこと　Part C	話すこと	英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (4)　話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ 1　目　標 (4)　話すこと［発表］

			ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅰ １　目　標 (2)　話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅱ １　目　標 (2)　話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。
・身近で社会的なテーマに対して，自分の意見とその意見をサポートする理由を言うことができる。	【設問数】１問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 (4)　話すこと［発表］ イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基

			に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （4）　話すこと［発表］ イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅰ １　目　標 （2）　話すこと［発表］ イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅱ １　目　標 （2）　話すこと［発表］ イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，スピーチやプレ

			ゼンテーションなどの活動を通して，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた E メールで問われる内容について，限られた時間の中で適切な回答を表現することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】1 問 【出題形式】記述式	書 く こ と	英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (5)　書くこと ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (6)　書くこと イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

			英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （5）　書くこと ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅰ １　目　標 （3）　書くこと ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅰ １　目　標 （3）　書くこと イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

			論理･表現Ⅱ １　目　標 （3）　書くこと ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 論理･表現Ⅱ １　目　標 （3）　書くこと イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 義務教育範囲 １　目　標 （5）　書くこと ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 義務教育範囲 １　目　標 （5）　書くこと

			イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。
・与えられた話題について，限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現することができる。	【設問数】1問 【出題形式】記述式 サンプル問題　書くこと　Part B	書くこと	英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (5)　書くこと イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ 1　目　標 (5)　書くこと イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅰ 1　目　標 (2)　書くこと イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，基本的な語句や文を用いて，意見や

			主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅱ １　目　標 (3)　書くこと イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

（様式４）

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Core タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：基本タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・イラストなど与えられた視覚的情報をもとに，状況や場面，事物を描写説明した単文を聞き分けることができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】８問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験 サンプル問題「聞くこと」Part A	聞くこと	義務教育範囲 １　目　標 （1）　聞くこと ア　はっきりと話されれば，日常的な話題について，必要な情報を聞き取ることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。
・事前予測ができる情報がない中で，不意の質問に対する適当な応答を素早く判断し処理することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】８問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験	聞くこと	義務教育範囲 １　目　標 （1）　聞くこと ア　はっきりと話されれば，日常的な話題について，必要な情報を聞き取ることができるようにする。

			英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。
・事前に与えられる視覚情報と音声情報から，その場で求められている課題（タスク）を解決することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】８問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験 サンプル問題「聞くこと」Part C	聞 く こ と	義務教育範囲 １　目　標 （1）　聞くこと ア　はっきりと話されれば，日常的な話題について，必要な情報を聞き取ることができるようにする。 義務教育範囲 １　目　標 （1）　聞くこと イ　はっきりと話されれば，日常的な話題について，話の概要を捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。

・一定以上の長さの英文を聞き，事前に与えられる英語の質問に答えるため必要な情報を選択，適切な判断をすることができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】8 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験	聞 く こ と	義務教育範囲 1　目　標 (1)　聞くこと ア　はっきりと話されれば，日常的な話題について，必要な情報を聞き取ることができるようにする。 義務教育範囲 1　目　標 (1)　聞くこと イ　はっきりと話されれば，日常的な話題について，話の概要を捉えることができるようにする。 義務教育範囲 1　目　標 (1)　聞くこと ウ　はっきりと話されれば，社会的な話題について，短い説明の要点を捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (1)　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。

			英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （1）　聞くこと イ　社会的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短文の文脈を理解するとともに，語彙選択上最も適切な表現を正確に判断することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】10 問 【出題形式】選択式	読むこと	義務教育範囲 １　目　標 （2）　読むこと イ　日常的な話題について，簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）　読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握することができるようにする。
・与えられた英文の題材について，短時間で必要な情報を引き出すことができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】8 問 【出題形式】選択式 サンプル問題　「読むこと」Part B-1（情報検索）	読むこと	義務教育範囲 １　目　標 （2）　読むこと ア　日常的な話題について，簡単な語句や文で書かれたものから必要な

			情報を読み取ることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）　読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握することができるようにする。
・与えられた英文の題材について，短時間で全体の概要を理解することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】2 問 【出題形式】選択式 サンプル問題　「読むこと」Part B-2（概要把握）	読 む こ と	義務教育範囲 １　目　標 （2）　読むこと イ　日常的な話題について，簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）　読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

・多めの英文について，趣旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し，必要な情報を読み取ることができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】８問 【出題形式】選択式	読むこと	義務教育範囲 １　目　標 （2）　読むこと イ　日常的な話題について，簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 義務教育範囲 １　目　標 （2）　読むこと ウ　社会的な話題について，簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）　読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）　読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・英文を読み上げる形式の出題で，状況や英文を理解した上で，正確な発音で音読することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】2 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	
・図示された情報を読み取り，それに関する質問を聞き取った上で，適切に応答することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】4 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	義務教育範囲 1　目　標 (3)　話すこと［やり取り］ ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 義務教育範囲 1　目　標 (3)　話すこと［やり取り］ イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (3)　話すこと［やり取り］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。

・日常的な出来事について，話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】1 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験 サンプル問題　「話すこと」Part C	話すこと	義務教育範囲 1　目　標 (4)　話すこと［発表］ ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 義務教育範囲 1　目　標 (4)　話すこと［発表］ イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ 1　目　標 (4)　話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
・身近で社会的なテーマに対して，自分の意見とその意見をサポートする理由を言うことができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】1 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	義務教育範囲 1　目　標 (4)　話すこと［発表］ ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。

			義務教育範囲 １　目　標 （4）　話すこと［発表］ イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （4）　話すこと［発表］ イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	（参考）学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた E メールで問われる内容について，限られた時間の中で適切な回答を表現することができる。	【設問数】1 問 【出題形式】記述式	書くこと	義務教育範囲 １　目　標 （5）　書くこと ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。

			義務教育範囲 １　目　標 （5）　書くこと イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （5）　書くこと ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （5）　書くこと イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

・与えられた話題について，限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】1 問 【出題形式】記述式 サンプル問題「書くこと」Part B	書 く こ と	**義務教育範囲** 1　目　標 (5)　書くこと ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 **義務教育範囲** 1　目　標 (5)　書くこと イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 **英語コミュニケーションⅠ** 1　目　標 (5)　書くこと イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

（様式５）

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Advanced タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：「聞くこと」Part A

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>写真など与えられた視覚的情報をもとに，状況や場面，事物を描写説明した単文を聞き分ける力を測定する問題です。キーワードを聞き取れるか，基本的なリスニング力が試されます。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>ここでは、写真の内容を表す文として、[A]～[C]の３つの英文が読まれます。その中から、最も適当なものを１つ選びなさい。

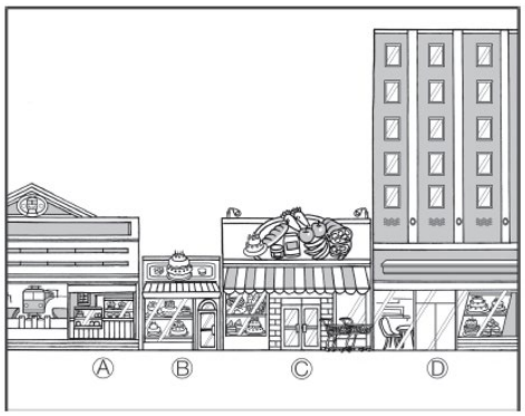
[A]
[B]
[C]
［スクリプト］
[A] A woman is reaching for a map while a man is trying to start a car.
[B] A man is driving a vehicle while a woman is looking at a map.
[C] A man and a woman are going for a drive while they are searching for a map.</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>B</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。 義務教育範囲 １　目　標 （1）　聞くこと ア　はっきりと話されれば，日常的な話題について，必要な情報を聞き取ることができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Advanced タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：「聞くこと」Part C

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>事前に与えられる視覚情報と音声情報から，その場で求められている課題（タスク）を解決する力を測定する問題です。場面設定が「ホームステイ中」「海外から来た留学生とのやりとり」などに設定されています。英語で指示を与えられて行動するという実際の英語でのやりとりに近い感覚を体感できます。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td>Q23</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td>Q23</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td>Q23</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
ここでは、まず状況を説明する日本語が読まれます。続いて英文が読まれるので、イラストを見ながら聞きなさい。あなたは、各場面の日本人学生になったつもりで、イラストの下の質問に対する答えとして最も適当なものを、[A]～[D]の中から１つ選びなさい。

あなたはアメリカに留学中です。ホストシスターがテニスの大会で優勝したので、祝賀会をすることになり、今、ホストマザーとお祝いのケーキについて話しています。まず、ホストマザーからあなたに話しかけます。



23. Where will you get the cake from?

[A] Ⓐ
[B] Ⓑ
[C] Ⓒ
[D] Ⓓ

［スクリプト］

F： I'd like you to get the cake.
M: Sure. The shop beside the station sells cakes.
F： Yes, but it's expensive. Get one from Kathy's Cake Shop instead. It's on the first floor of the building next to the supermarket.
M: OK.
</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>D</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Advanced タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：「読むこと」Part B-1　概要把握

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>与えられた英文の題材について，短時間で全体の概要を理解する力を測定する問題です。英語の新聞や雑誌の記事を模した英文を題材にしています。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
ここでは、２つの形式の問題があります。英語の文章や図表の中から、質問に対する答えとなる考えや情報を素早く探し、最も適当なものを、[A]～[D]の中から１つ選びなさい。

Nearly every public bus and train system faces what is known as the "last-mile problem." No matter how complete these systems are, people usually must walk some distance to reach their homes or jobs. Since it is expensive to add new train or bus lines, some cities are experimenting with programs that let people rent bicycles or small cars near train stations. Once they arrive at their home or office, people leave the bicycle or car for someone else. No train or bus system will ever be perfect, so it is necessary to find solutions for the "last-mile problem."

What is this passage mainly about?

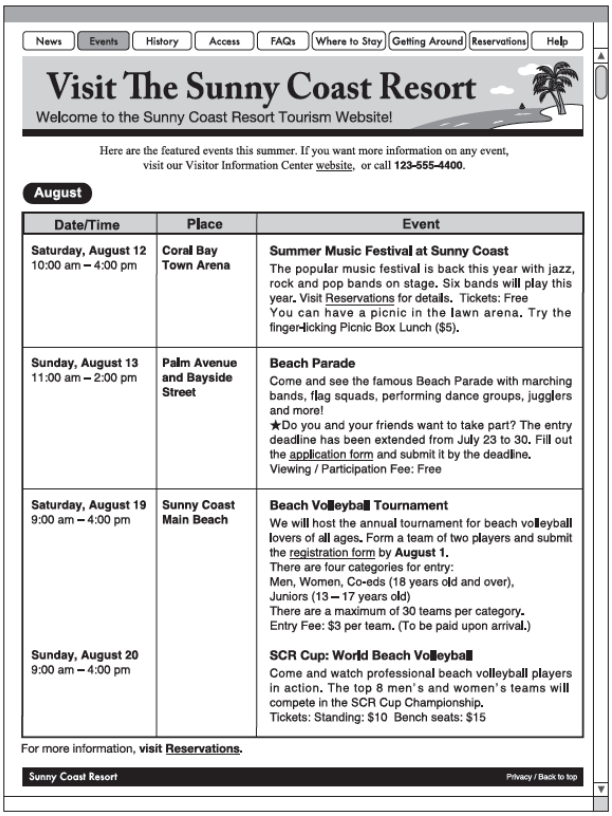
[A] How to build trains and buses that serve more people.
[B] Why the vehicle rental system does not work well.
[C] How to reduce walking distances when using buses or trains.
[D] Why people find bicycles more convenient to use than buses.
</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>C</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （2）読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Advanced タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：「読むこと」Part B-2　情報検索

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>与えられた英文の題材について，短時間で必要な情報を引き出す力を測定する問題です。英語の広告や案内などを模した題材としています。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td>Q27</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>Q28</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td>Q27</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Q28</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td>Q27</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Q28</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
27. If you wanted to participate in the parade, by when must you register?
[A] July 23.
[B] July 30.
[C] August 1.
[D] August 13.

28. How much would you have to pay to register two teams for the beach volleyball event?
[A] $3.
[B] $6.
[C] $10.
[D] $20.



</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>B, B</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （2）読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Advanced タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：「話すこと」Part C

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>日常的な出来事について，話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力を測定する問題です。日常生活や学校，留学場面などの設定による出題となっています。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○
（録音式）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>Part C は４コマイラストの問題です。これから画面に表示される１コマめから４コマめのすべてのイラストについて、ストーリーを英語で話してください。はじめに準備時間が３０秒あります。解答時間は１分です。この Part には例題はありません。録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。

あなたは、先日ある少年が経験したことを、留学生の友だちに話すことになりました。相手に伝わるように英語で話してください。（準備時間３０秒／解答時間１分）

</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>The other day a boy got up late in the morning. He didn’t want to be late for school, so he rushed to the station. Luckily, he made it to the train on time. He was very relieved. However, when he got off the train, he realized that he forgot his bag on the train. So, he asked the station staff about it.</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （4）話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （4）話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅰ １　目　標 （2）話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅱ １　目　標 （2）話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Advanced タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：「書くこと」Part B

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>与えられた話題について，限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力を測定する問題です。社会との接点を通して，個人の経験や他の事例をもとに自分の意見と理由を述べることに適した題材を出題します。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>あなたは留学先の授業でエッセーを書くことになり、以下のテーマを選びました。このテーマを読んでいない人にも伝わるようにエッセーを書きなさい。

エッセーのテーマ：
We are now living in an aging society. What do you think can be done about problems related to this? Choose one thing and explain why.</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>Like many other countries, Japan is having problems related to its aging society. Making Japan's health care better in a couple of ways would help with some of the problems.
Older people have a higher risk of health problems. However, some of the problems can be prevented if people get enough exercise. For example, if the government had many free gyms for older people, they could exercise and stay healthy. Then, they might have fewer health problems.
Having more doctors and nurses for older people is another way to make health care better. If the government gave those workers more money, more people would want those kinds of jobs. Then, there would be many doctors and nurses to help older people when they have health problems.
For the reasons above, I think health care in Japan should be made better. That should help with some problems that happen in an aging society.</td></tr>
<tr><td>（参考）学習指導要領の関連項目</td><td>英語コミュニケーションⅠ
１　目　標
（5）書くこと
イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

英語コミュニケーションⅡ
１　目　標
（5）書くこと</td></tr>
</table>

	イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 論理･表現Ⅰ １　目　標 (3) 書くこと イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 論理･表現Ⅱ １　目　標 (3) 書くこと イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

（様式５）

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Basic タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：「聞くこと」Part A

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>イラストなど与えられた視覚的情報をもとに，状況や場面，事物を描写説明した単文を聞き分ける力を測定する問題です。キーワードを聞き取れるか，基本的なリスニング力が試されます。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td><table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td><table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td><table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>ここでは、写真の内容を表す文として、[A]～[C]の３つの英文が読まれます。その中から、最も適当なものを１つ選びなさい。

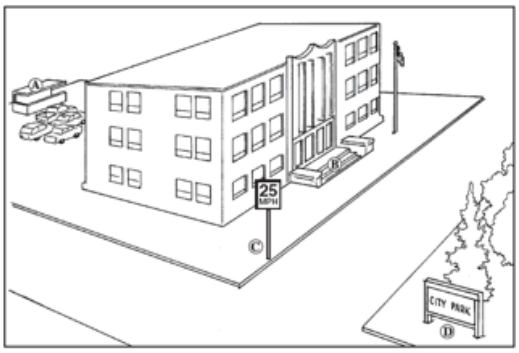
［スクリプト］
[A] A woman is wearing a dress in front of a mirror in a fitting room.
[B] A woman is looking at herself in a mirror with a dress in her hands.
[C] A woman is putting a dress beside a mirror near a shop window.</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>B</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。 義務教育範囲 １　目　標 （1）　聞くこと ア　はっきりと話されれば，日常的な話題について，必要な情報を聞き取ることができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Basic タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：「聞くこと」Part C

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>事前に与えられる視覚情報と音声情報から，その場で求められている課題（タスク）を解決する力を測定する問題です。場面設定が「ホームステイ中」「海外から来た留学生とのやりとり」などに設定されています。英語で指示を与えられて行動するという実際の英語でのやりとりに近い感覚を体感できます。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td>Q27</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td>Q27</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td>Q27</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
ここでは、まず状況を説明する日本語が読まれます。続いて英文が読まれるので、イラストを見ながら聞きなさい。あなたは、各場面の日本人学生になったつもりで、イラストの下の質問に対する答えとして最も適当なものを、[A]～[D]の中から１つ選びなさい。

あなたはアメリカでホームステイ中です。ホストマザーと話をしていて、ホストブラザーの代わりに放課後の新聞配達をすることになりました。ホストマザーがあなたに頼むことを聞きなさい。



27.　どこで新聞を受け取ればよいか。

[A]　Ⓐ
[B]　Ⓑ
[C]　Ⓒ
[D]　Ⓓ

［スクリプト］

F：You'll have to get your newspapers at the school.
M：Where will they be?
F：Beside the parking lot.
M：OK.
</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>A</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Basic タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：「読むこと」Part B　概要把握

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>与えられた英文の題材について，短時間で全体の概要を理解する力を測定する問題です。英語の新聞や雑誌の記事を模した英文を題材にしています。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>ここでは、２つの形式の問題があります。英語の文章や図表の中から、質問に対する答えとなる考えや情報を素早く探し、最も適当なものを、[A]～[D]の中から１つ選びなさい。

In the south of the USA, barbecue has been a popular cooking style for more than a hundred years. Wood fires are often used to cook the food very slowly, for up to 18 hours! Sauce is added to the food while it is being cooked. Corn bread is usually eaten as a side dish. Because the food is cheap to prepare, it has become popular among regular working people. Today, barbecue is enjoyed by many kinds of people.

What is this passage mainly about?

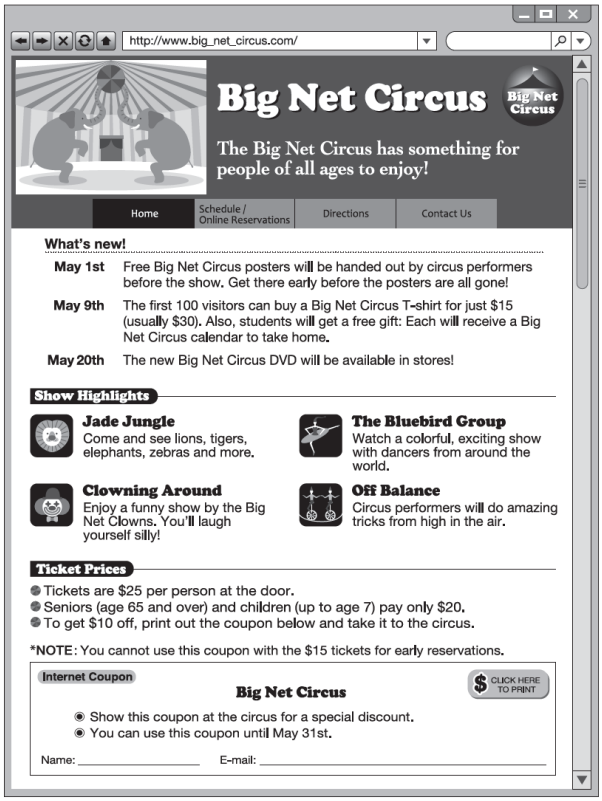
[A] A style of cooking in the south of the USA.
[B] Places to go to enjoy slowly cooked food.
[C] The best kind of sauce to use for barbecue.
[D] The reason barbecue is a cheap food to prepare.</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>A</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）　読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （2）　読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Basic タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：「読むこと」Part B　情報検索

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>与えられた英文の題材について，短時間で必要な情報を引き出す力を測定する問題です。英語の広告や案内などを模した題材としています。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td>Q17</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>Q18</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td>Q17</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Q18</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td>Q17</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Q18</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
17. You are a student. What will you be able to get for free at the show on May 9th?
[A] A calendar.
[B] A DVD.
[C] A poster.
[D] A T-shirt.

18. You are going to use the Internet Coupon. How much will you save with it?
[A] $10.
[B] $15.
[C] $20.
[D] $25.



</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>A, A</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）　読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握することができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （2）　読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Basic タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：「話すこと」Part C

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>日常的な出来事について，話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力を測定する問題です。日常生活や学校，留学場面などの設定による出題となっています。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○
（録音式）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>Part C は４コマイラストの問題です。これから画面に表示される１コマめから４コマめのすべてのイラストについて、ストーリーを英語で話してください。はじめに準備時間が３０秒あります。解答時間は１分です。この Part には例題はありません。録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。

あなたは、先日ある少年が経験したことを、留学生の友だちに話すことになりました。相手に伝わるように英語で話してください。（準備時間３０秒／解答時間１分）
</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>The other day a boy got up late in the morning. He didn’t want to be late for school, so he rushed to the station. Luckily, he made it to the train on time. He was very relieved. However, when he got off the train, he realized that he forgot his bag on the train. So, he asked the station staff about it.</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （4）　話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅡ １　目　標 （4）　話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅰ １　目　標 （2）　話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 論理・表現Ⅱ １　目　標 （2）　話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Basic タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：標準タイプ
サンプル問題番号：「書くこと」Part B

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>与えられた話題について，限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力を測定する問題です。社会との接点を通して，個人の経験や他の事例をもとに自分の意見と理由を述べることに適した題材を出題します。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>あなたは留学先の授業でエッセーを書くことになり、以下のテーマを選びました。このテーマを読んでいない人にも伝わるようにエッセーを書きなさい。

エッセーのテーマ：
What do you think about high school students having part-time jobs? State your opinion and explain why.</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>I think high school students having part-time jobs is good. I have two reasons for this.
First, at a part-time job, students can learn new things. There are things they can't learn at school. A student can learn how to speak to customers at a part-time job in a shop. Also, a student can learn about cooking food at a restaurant. Students can't experience these kinds of things at school.
Second, students can meet people of different ages at a part-time job. This is interesting, because at school, students usually speak to people who are their own age.
For these reasons, I think it's good for student to have part-time jobs.</td></tr>
<tr><td>（参考）学習指導要領の関連項目</td><td>英語コミュニケーションⅠ
１　目　標
（5）　書くこと
イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

英語コミュニケーションⅡ
１　目　標
（5）　書くこと</td></tr>
</table>

	イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 論理･表現Ⅰ １　目　標 (3)　書くこと イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 論理･表現Ⅱ １　目　標 (3)　書くこと イ　日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

（様式５）

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Core タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：基本タイプ
サンプル問題番号：「聞くこと」Part A

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>イラストなど与えられた視覚的情報をもとに，状況や場面，事物を描写説明した単文を聞き分ける力を測定する問題です。キーワードを聞き取れるか，基本的なリスニング力が試されます。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
ここでは、写真の内容を表す文として、[A]～[C]の３つの英文が読まれます。その中から、最も適当なものを１つ選びなさい。

[A]
[B]
[C]

［スクリプト］

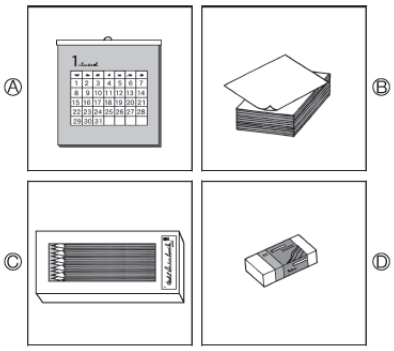
[A] A man is playing with a dog.
[B] A man is walking with a dog.
[C] A man is washing a dog.
</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>C</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	義務教育範囲 １　目　標 （1）　聞くこと ア　はっきりと話されれば，日常的な話題について，必要な情報を聞き取ることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Core タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：基本タイプ
サンプル問題番号：「聞くこと」Part C

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>事前に与えられる視覚情報と音声情報から，その場で求められている課題（タスク）を解決する力を測定する問題です。場面設定が「ホームステイ中」「海外から来た留学生とのやりとり」などに設定されています。英語で指示を与えられて行動するという実際の英語でのやりとりに近い感覚を体感できます。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td>Q21</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td>Q21</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td>Q21</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
ここでは、まず状況を説明する日本語が読まれます。続いて英文が読まれるので、イラストを見ながら聞きなさい。あなたは、各場面の日本人学生になったつもりで、イラストの下の質問に対する答えとして最も適当なものを、[A]～[D]の中から１つ選びなさい。

あなたはアメリカにホームステイ中です。学校の課題をしているホストシスターが、あなたに頼みごとをしています。まず、ホストシスターからあなたに話しかけます。



21 あなたは何を買ってくるか。

[A] Ⓐ
[B] Ⓑ
[C] Ⓒ
[D] Ⓓ

［スクリプト］

F : Can you go shopping for me? I'm making a calendar for school.
M: Sure.
F : **I have a lot of paper, but I need some pencils.**
M: **OK.** Do you need an eraser?
F : No, thanks.
</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>C</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	義務教育範囲 １　目　標 （1）　聞くこと ア　はっきりと話されれば，日常的な話題について，必要な情報を聞き取ることができるようにする。 義務教育範囲 １　目　標 （1）　聞くこと イ　はっきりと話されれば，日常的な話題について，話の概要を捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （1）　聞くこと ア　日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支 援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握することができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Core タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：基本タイプ
サンプル問題番号：「読むこと」Part B-1　情報検索

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>与えられた英文の題材について，短時間で必要な情報を引き出す力を測定する問題です。英語の広告や案内などを模した題材としています。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td>Q17</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>Q18</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td>Q17</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Q18</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td>Q17</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Q18</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
ここでは、２つの形式の問題があります。英語の図表や文章の中から、質問に対する答えとなる情報や考えを<u>素早く探し</u>、最も適当なものを、[A]～[D]の中から１つ選びなさい。

17 How many days a week can you study with a German teacher?

[A] Two days.
[B] Three days.
[C] Four days.
[D] Five days.

18 Today is Saturday. What should you do to take a lesson?

[A] Call the International Students Office.
[B] Go to the Greenlee College office.
[C] Send an e-mail to the International Students Office.
[D] Talk to Mr. Tim Dudley.

Foreign Language Volunteer Teachers

Do you need help studying a foreign language?

Let the international students at Greenlee College help!

We have teachers on these days(●):

Language	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
Chinese	●	●	●		●
French	●		●		●
German		●		●	
Spanish	●	●	●	●	●

*We also need more international students to be volunteer teachers! Call Mr. Tim Dudley at 555-800-3516, or send him an e-mail at <new-tutors@greenlee.edu>.

To take a lesson, call or send an e-mail to the International Students Office.
Tel: 555-800-0848 (9 am – 5 pm, Monday – Friday)
E-mail (7 days a week): iso@greenlee.edu
</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>A，C</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	義務教育範囲 １　目　標 （2）　読むこと ア　日常的な話題について，簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）　読むこと ア　日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握することができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Core タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：基本タイプ
サンプル問題番号：「読むこと」Part B-2　概要把握

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>与えられた英文の題材について，短時間で全体の概要を理解する力を測定する問題です。英語の新聞や雑誌の記事を模した英文を題材にしています。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
ここでは、２つの形式の問題があります。英語の図表や文章の中から、質問に対する答えとなる情報や考えを<u>素早く探し</u>、最も適当なものを、[A]～[D]の中から１つ選びなさい。

London had traffic lights about 20 years before its first cars. That was because the roads were already busy with many people and horses, and the lights were needed to control the heavy traffic. Police officers had to stand next to the traffic lights and change the red and green lamps, for “stop” and “be careful,” by hand.

19 これは主に何について書かれていますか。
[A] The busy roads that go to London.
[B] The first traffic lights in London.
[C] The history of London’s first cars.
[D] The work of London police officers.
</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>B</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	義務教育範囲 １　目　標 （2）　読むこと イ　日常的な話題について，簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （2）　読むこと イ　社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Core タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：基本タイプ
サンプル問題番号：「話すこと」Part C

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>日常的な出来事について，話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力を測定する問題です。日常生活や学校、留学場面などの設定による出題となっています。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○
（録音式）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td>
<table>
<tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>
Part C は４コマイラストの問題です。画面に表示された１コマめから４コマめのイラストについて、ストーリーを英語で話してください。はじめに準備時間が３０秒あります。解答時間は４０秒です。

※録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。

画面のイラストは、昨日あなたに起こった出来事です。あなたが登場人物（＝女の子）になったつもりで、起こった出来事について英語で説明してください。

</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>I was looking for my cat. / I found it in a tree. / I showed some food to the cat. / The cat came down from the tree.</td></tr>
</table>

（参考）学習指導要領の関連項目	義務教育範囲 １　目　標 （4）　話すこと［発表］ ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 義務教育範囲 １　目　標 （4）　話すこと［発表］ イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 英語コミュニケーションⅠ １　目　標 （4）　話すこと［発表］ ア　日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：GTEC Core タイプ
対象教科：英語
測定内容の区分：基本タイプ
サンプル問題番号：「書くこと」Part B

<table>
<tr><td>出題科目</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>出題のポイント</td><td>与えられた話題について，限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力を測定する問題です。日常生活の中から，個人が経験したことをもとに自分の意見と理由を述べることに適した題材を出題します。</td></tr>
<tr><td>主として問う能力</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>出題形式</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>主として問う技能</td><td><table><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>サンプル問題</td><td>あなたは留学先の授業で作文を書くことになり、以下のテーマを選びました。このテーマを読んでいない人にも伝わるように作文を書きなさい。

作文のテーマ：
What is something that is important to you? Choose one thing and explain why.</td></tr>
<tr><td>解答例</td><td>My soccer ball is something that is important to me. There are two reasons why.
First, my soccer ball is cool because it has my favorite team's colors. It makes me feel excited. I'm a good soccer player. I can kick and shoot my soccer ball very far.
Second, I have many memories with my soccer ball. I got it as a present from my mother when I was three years old. The ball is very old, but I still use it. I take it to the park and play soccer with my friends every week.
That is why my soccer ball is something that is important to me.</td></tr>
<tr><td>（参考）学習指導要領の関連項目</td><td>義務教育範囲
１　目　標
（5）　書くこと
ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。

義務教育範囲
１　目　標
（5）　書くこと
イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

英語コミュニケーションⅠ
１　目　標</td></tr>
</table>

	(5)　書くこと イ　社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。